

令和2年度（2020年度）
第1回熊本市公民館運営審議会

別冊資料



熊本市公民館

目 次

令和元年度（2019年度）重点事業 実践事例

	ページ
(1) 学習機会（公民館講座）の充実	1
① 関係課や関係機関（NPO等）と連携した講座の実施	3
② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施	9
③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施	15
* 人権教育・啓発講演会等 及び 関連講座等の実施状況	21
(2) 学習成果を生かす環境づくり	27
① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供	29
② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充	36
③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援 及び地域コミュニティ形成の支援	42
(3) 家庭教育支援の充実	49
① 家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進	51
② 家庭教育支援に関する講演会の実施	70
③ 親の学び講座等、参加体験型講座の実施	89
* 家庭教育学級 学習内容一覧	109

令和元年度(2019年度)重点事業

(1) 学習機会

(公民館講座)の充実

講座名	いきいきと自立した生活を送るための「介護予防・健康体操講座」
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ① 関係課や関係機関（NPO等）と連携した講座の実施
趣旨	いつまでも住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送るために、生活行為向上・認知症予防のため、仲間との語らいを目的として、ささえりあ「あさひば」、関係施設病院の専門職の方と連携して開催しました。また、参加者が学んだことを地域のサロンや集いの場で広げていくことも目的としています。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>秋津公民館管内の熊本市の地域包括支援センター「ささえりあ あさひば」、施設や病院、消防署の専門職の方と連携し開催しました。</p> <p>平成31年1月 「必見！これであなたも百歳体操名人」 講師：在宅支援リハビリテーションセンターたくまだい 認定作業療法士</p> <p>令和元年5月 「必見！みんな一緒に脳トレ体操」 講師：在宅支援リハビリテーションセンターたくまだい 認定作業療法士</p> <p>令和元年8月 「もしもに役立つ救急蘇生法&グループレクリエーション」 講師：熊本市東消防署職員 在宅支援リハビリテーションセンターたくまだい 認定作業療法士</p> <p>令和元年10月 「必見！みんなでやるばい！よかばい体操」 講師：熊本託麻台リハビリテーション病院 地域リハ担当理学療法士 桜木東校区 介護予防サポーター</p> <p>令和2年1月 「必見！かたんなっせ体操体験会」 講師：朝日野総合病院 理学療法士 秋津校区 介護予防サポーター</p> <div data-bbox="344 1330 708 1599"> </div> <div data-bbox="716 1330 1074 1599"> </div> <div data-bbox="1082 1330 1444 1599"> </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】どなたでも（参加者 各回 40人～60人）</p> <p>【費用】無料</p>
成果と課題	<p>熊本市推奨の健康体操を中心に実施しました。連携することで、それぞれの運動について専門職の方に動き方のポイントを指導してもらうことができます。一般の参加者、ならびに介護予防サポーターとして活躍している方の学びとなり、受講者が地域のサロン活動で取り入れるなど広がりみられました。介護予防サポーターの活躍の場にもなっています。</p>

講座名	「河内の海苔について知ろう！味わおう！」	
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ① 関係課や関係機関（NPO等）と連携した講座の実施	
趣旨	海苔加工場見学や海苔を使った料理を作ることで、河内の特産物「海苔」が製品になるまで、海苔のもつ栄養、生産者の思い等を知り、海苔に対しての意識を高めてもらうことをめあてとしています。	
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	9時半 開会 9時35分 海苔が育つ様子や流通、海苔の栄養等について講話（水産振興センター職員） 10時10分 地域の様子を見ながら、海苔加工場へ徒歩で移動 10時25分 海苔加工場見学と講話（海苔生産者） 11時25分 海苔を使った簡単料理作り（水産振興センター職員） 12時 閉会	
事業のその他の情報	【期日】1月25日（土）午前9時半～正午 【対象】どなたでも（先着順 20人） 【費用】海苔代・料理材料代 400円（持ち帰り海苔代含む） 【講師】農水局水産振興センター職員、猿渡洋一さん（海苔生産者）	
成果と課題		
	  <p>専門の職員から海苔の知識を学び、実際加工場や海、船を観察し、海苔生産に携わる方の話を聞き、講師が育てた海苔を使って、乾海苔と焼き海苔を食べ比べしたり、おにぎりに巻いて食べたりして、海苔三昧の時間になりました。全員が講座に満足、持ち帰り用の海苔でさっそく習った料理を作りたいと話されていました。地域の海苔生産者の方と水産振興センターの協力がなければ、このような企画はできなかったと感謝します。</p> <p>加工場での見学に支障がないように定員を20人にしましたが、加工場は機会の音が大きいため、講師の話が聞き取りにくかった人たちもいました。また、衛生面には十分に気を付けなければならないと感じました。また、内容を詰め込み過ぎて、参加者を急ぎ立ててしまった時もありました。次回は内容を厳選する、ゆとりをもった時間にする、2回シリーズにするなど流れについても検討したいと思います。</p>	

講座名	育児相談
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会(公民館講座)の充実 ① 関係課や関係機関(NPO等)と連携した講座の実施
趣旨	子育て支援の一環で、日頃、子どもに関わる中での悩みや相談を、南区保健子ども課と連携し行うものです。主として、乳幼児や未就園児の保護者に対して、育児はもちろん、健康面や成長に関わる小さなことまで幅広く相談に応じます。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	南区保健子ども課との連携で毎年1回、児童室を会場に実施します。日頃、児童室に来室する地域の保護者に呼びかけ参加してもらいます。同じ地域の育児世代の保護者が一同に会することで、横のつながりも作ることを担っています。身体測定や栄養指導などを保健師と栄養士の方に行っていただき直接指導にあたってもらいます。
事業のその他の情報	【対象】 乳幼児、未就園児と保護者 【日時】 令和元年10月11日(金) 午前10時半~正午 【講師】 南区役所保健子ども課・保健師・栄養士 【費用】 無料
成果と課題	<p><u>☆参加した保護者の声から</u></p> <p>アンケートを取ったら、参加者全員が今後もこの育児相談に参加したいと回答されました。その理由は、「公民館児童室での実施が自宅から近い」、「玩具があり子どもが退屈しない」、「子どもにとって広くて、いつも来ているところなので安心できる雰囲気があるから」などが多くあげられました。また、本公民館以外で育児相談などを受けられる機会があるかの問いに対して参加者の半数が「ない」と答えています。このことからこの事業の保護者にとっての重要性が伺えます。</p> <p><u>☆南区役所の担当者の声から</u></p> <p>課題としては、南区がこの事業を縮小しようとして、本公民館での実施をなくし、保護者に南区役所に直接来てもらえないかという話があります。しかし、地域の保護者からは、南区役所でも同様の事業があっていますが、保健子ども課が区役所の4階にあり、そこまで行くのが遠くて4階まで上がるのも大変だという意見や、引き続き本公民館で実施してほしいと保護者からの要望が数多く出ているので、南区役所に要望し、毎年南区役所から出張してもらおう形となっています。</p>



講座名	楽しくマナビ、好感度アップ講座！
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ① 関係課や関係機関（NPO等）と連携した講座の実施 (2) 学習成果を生かす環境づくり ②公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充</p>
趣旨	<p>大きく変わっていく社会の中で、人と人とのつながりはますます希薄化していく方向にあります。これからの時代を豊かに生き抜く手段が必要になってきます。そこで、公民館講座として、人と人をつなぐ場の提供とスキルの向上を目的に今回の講座を企画しました。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>講師として依頼した「NPO 法人教育支援マスターズ・熊本」は、学校教育から社会教育まで幅広いところで活動をされています。メンバーの皆さんは、それぞれが自分の仕事に就いておられ、自分で学ばれたことを今度は講師として生かそうとされています。今回は「楽しくマナビ、好感度アップ講座」と題して、3回シリーズで内容的には単発の講座を行いました。</p> <p>1回目（6/22）信頼を築く傾聴 2回目（9/7）好感がもてる話し方 3回目（10/12）わたしを広げるコーチング術</p> <p>いずれの会も、アイスブレイクから始まり、テーマに関するワークショップ、テーマ講話という流れになっています。講師側も複数で役割分担され、講座にあたっておられます。</p> <div data-bbox="359 1155 687 1404" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="719 1155 1048 1404" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1080 1155 1409 1404" data-label="Image"> </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 どなたでも （家庭教育学級生 10人） 【日時】 6月22日・9月7日・10月12日（土） 午前10時～正午 <全3回> 【講師】 NPO 法人教育支援マスターズ・熊本 【費用】 無料</p>
成果と課題	<p>アンケートでは、コミュニケーションの大切さを知り、そのテクニックが習得できたという回答が多かったです。皆さんがよい学びをされたことがわかりました。しかしながら、3回シリーズで行いましたが、単発での参加も許可したので、3回すべての講座に出席した受講生はいませんでした。内容的にとっても学びになるものだったので、たくさんの方に学んでいただきたいという思いです。</p> <p>講師側も、講座の前に綿密な打ち合わせ行ったり、講座終了後に反省会を行ったり等、講座をさらによいものにしようと学ばれています。また、アンケート結果を集約して、次に生かそうとされています。</p> <p>今後も、NPO 法人教育支援マスターズ・熊本と協議しながら、次年度の方向性を出していく予定です。</p>

講座名	作って食べて国際交流 ～中国の水餃子～
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会（公民館講座）の充実</p> <p>① 関係課や関係機関（NPO等）と連携した講座の実施</p>
趣旨	<p>国際交流会館と連携し、外国の代表的な調理を通して外国への理解を深める講座です。今回は中国の水餃子を調理し試食することで、中国の迎春行事や、冬至に食べる伝統的な食べ物など関連や歴史についての講話を聞きます。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>国際交流会館は、多くの外国の情報を得ることができ、外国の方もたくさん訪れる施設です。熊本市に観光で訪れた人、仕事で滞在される方などにとって、母国について知ることができ、多くの外国の方に利用されています。また、同じ出身国の方どうしが、知り合いになり、お互いのコミュニケーションを深める場にもなっています。その国際交流会館のことを多くの市民に知ってもらい、また熊本在住の外国の方をとおして、外国の文化や伝統を知ってもらうことは、国際理解を深めるうえで大切なことであると考え、「作って食べて国際交流」という講座を企画しました。</p> <p>その中でも今回は中国の水餃子づくりを通して、冬至に食べる意味、また新年を迎える行事についてなど、日本との食文化と比較しながら考えました。</p>
事業のその他の情報	<p>【対象】 どなたでも（参加者 16人）</p> <p>【日時】 令和元年 12月 21日（土） 午前10時～正午</p> <p>【講師】 朱玉梅さん（国際交流会館ボランティア） 【費用】 一人 700円</p>
成果と課題	<p>水餃子を作りながらも、中国の食文化についてたくさんの質問がありました。中国では寒さから耳を守るために、耳の形そっくりの水餃子を冬至に食べること、その中に小銭を入れて日本のお年玉のような役割をすることもするなど、中国での生活感にあふれた話題が多く、中国の食生活の一端を知ることができた講座になりました。</p> <p>食べ物を通して外国のことを知ることは、国際理解の深めるうえでとても有効だと思いました。このように国際交流会館と連携することで、外国の文化に触れる機会を得ることができました。</p> <p>中国だけではなく他の国についても理解を深める活動を継続して実施できるよう計画的にすすめ、多くの国について学ぶことも大切だと思いました。</p>



(植木公民館)

講座名 NPO 法人 u&uN スポ植木 (総合型地域スポーツクラブ) と連携した講座 「スポレクひろば de 健康コミュニケーション術」「子ども体操」「親子でミニトランポリン」	
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会 (公民館講座) の充実 ① 関係課や関係機関 (NPO 等) と連携した講座の実施
趣旨	植木公民館の管内では、他管内に比べ高齢化、少子化が進んでいる為、高齢者の健康増進と、子どもたちがいろんな人と触れ合う機会が少ないので、それを増やしたいと考えました。そこで、NPO 法人 u&uN スポ植木という総合型地域スポーツクラブと、市民の健康増進を共通の目的として、高齢者や子ども、親子を対象とした講座を連携して行っていくことにしました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>高齢者向けとしては、60 歳以上を対象として、NPO 法人 u&uN スポ植木依頼の市民企画講座「スポレクひろば de 健康コミュニケーション術」を行い、運動や健康の大切さについて、楽しく気軽に学んでもらいました。</p> <p>小学生対象としては、他校の子どもとの交流を深めてもらう主催講座「子ども体操」を、親子対象としては、親子の絆を深めてもらう主催講座「親子でミニトランポリン」を計画し、その講師を NPO 法人 u&uN スポ植木から派遣してもらいました。</p>
事業のその他の情報	<p>「スポレクひろば de 健康コミュニケーション術」 【費用】参加費 1 回 500 円 [道具等のレンタル使用料] <全 18 回> 「子ども体操」【対象】小学 1 ~ 4 年生対象【費用】無料<全 4 回> 「親子でミニトランポリン」 【対象】小学生と保護者【費用】無料<全 2 回></p>
成果と課題	<p>「スポレクひろば de 健康コミュニケーション術」は、運動をする機会が年々減ってきている高齢者からとても好評で、「健康増進に役立つので、これからも続けてほしい。」という要望が出ていました。</p> <p>「子ども体操」では、子どもたちが別の学校の子と触れ合う機会を持つことができました。4 日間の練習の成果発表会を見られた保護者からは、「4 日間でこれだけできるようになるとは思わなかったです。他校の子とも仲良くなれて、参加させて良かったです。」という言葉を受けました。</p> <p>「親子でミニトランポリン」では、「夏休みの良い思い出になりました。」という言葉を受けました。</p>



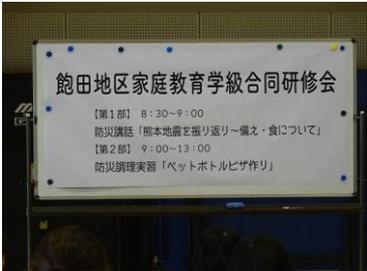
講座名	防災センターで子ども防災体験講座
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施
趣旨	熊本地震だけでなく、台風や大雨による甚大な被害が近年の日本では起こっています。いつ、どこでそのような災害が起きるかはわかりませんが、熊本地震から3年半以上を経過し、市民の方々も防災の意識が徐々に薄れてきている状況にあります。 昨年度まで、大人の方を対象にした防災講座を企画してきましたが、参加して下さる方が減ってきたことや固定化されてきたことを考えると別のアプローチから防災についての啓発を図る必要があると考え、今回の講座を企画しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	今回、講座を行った場所は大江公民館から徒歩10分足らずの中央消防署内にある熊本市広域防災センターにおいて、小学生を対象とした防災講座を実施しました。防災センターの職員の方に講師をしていただきました。 小学生対象の講座でしたが、保護者の方から子どもさんと一緒に防災体験をしたいとの要望がありましたので、その要望には応えました。 講座の内容は ①DVD視聴による防災学習 ②情報司令課の見学を通して119番通報についての説明 ③消防車や救急車等の車両見学及び説明 ④地震（震度7の揺れ）体験・台風（風速20mの風）体験・火災（煙が充満する部屋からの避難）体験の3つのコーナー体験
事業のその他の情報	【対象】小学生（参加者 小学生17人 幼児3人 保護者6人 計26人） 【日時】10月6日（日）午前10時～11時半 【講師】熊本市広域防災センター職員 【費用】無料
成果と課題	参加した児童のうち、これまでに防災センターに来たことがある児童は、1人だけでした。公民館講座ではできない体験型の講座を実施することができました。特に子どもたちには震度7の揺れを体験する地震体験が好評でした。 児童が体験を通して、これまで学校や家庭で学んだことをより深く学ぶことができたのではないかと思います。また、子どもさんと一緒に防災講座に参加して下さる保護者の方もいて、家庭で防災についてもう一度見直したり、考えたりするきっかけになったのではないかと思います。 エリア内の施設等を主催講座で利用していくことが主催講座のさらなる充実につながると考えます。

講座名	防災に役立つ LINE 講座
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施
趣旨	熊本地震の際、固定電話や携帯電話における音声通話がかなり混雑したのに比べて、LINE 等の SNS を使用した連絡手段のほうが、よりつながりやすかったことを踏まえて、高齢者の方にも LINE ユーザーとなつていただき、ご家族や熊本市公式アカウントとつながることで、防災に役立てていただくという趣旨のもと計画しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>講師として、平成 29 年度より本プログラムに対する公民館側のリクエスト（本市 LINE アカウントへの登録、災害時の有効性、高齢者が他県に住んでいる家族ともつながれるといったメリットとともに、画面の向こうに人がいることを通して、いじめなどに関わるお孫さんなどの相談相手にもなれることなどをお伝えすること）を聞いてもらっているアビリティスクールマリオネットにお願いしました。特に人権課題についての理解があることや学校関係者への講演会等の実績も考慮しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業のその他の情報	<p>【講師】アビリティスクールマリオネット 【参加費】500 円 【日程】令和元年 10 月 2 日・9 日（水） 午前 10 時～正午 <全 2 回></p>
成果と課題	<p>参加した方には漏れなく熊本市 LINE アカウントと友達登録をしていただきました。受講の際には以前の受講者の感想などから、実際にお孫さんにつながってやり取りをしていることなど、今後の活用方法についても提案させていただきました。また、事後アンケートによると周りの人にも知らせたいと考えている方が多数いらっしゃいました。全 2 回講座の 1 回目の後で、実際に家族とつながったりやり取りをしたりして、便利さを実感している様子も感じられました。</p> <p>今後も本講座を続けたいと考えていますが、参加者数の減少が見られるため、内容の変更や上級編の立ち上げなどを検討する必要があると感じています。</p>

講座名	防災キャンプとみかん狩り	
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会(公民館講座)の充実</p> <p>① 関係課や関係機関(NPO等)と連携した講座の実施</p> <p>② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施</p>	
趣旨	<p>公民館は生涯学習の場を提供する場であるとともに、防災時には避難所としての機能も有しています。そこで、今回は後者としての公民館の役割を次世代を担う子供たちに経験してもらうとともに、今回の活動を通して防災に関する知識や防災への意識を高めってもらうことを目的として本講座を開催しました。</p>	
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>熊本市消防局では、将来の防災リーダーの育成と系統立てた防災学習の構築に向けて、今年度より新規事業として消火体験ができるVR機材が導入されました。実際の消火訓練や地震体験を行うことができながらも安全性が高い機材で、子どもたちへの学習効果が高いと考えられます。熊本市公民館では熊本地震の教訓とした防災学習を進めていることと、消防局が目指す市民全体の防災力向上、将来の防災リーダーの育成というお互いのねらいを形にした講座です。</p> <p>NPO法人ソナエトコとの連携という視点でも、防災についての高い専門的な知識を基にした防災学習とペットボトルを使ったピザ作りを行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
事業のその他の情報	<p>【対象】小学生4年生～6年生 (参加者 19人)</p> <p>【日時】10月26日(土)午後2時～10月27日(日)午前11時半 <泊2日></p> <p>【講師】消防局職員・NPO法人ソナエトコ 【費用】1500円(材料代等)</p>	
成果と課題	<p>アンケートの回答より、ペットボトルピザ作りを楽しんでいた子どもがたくさん見られました。また、地震体験ができる車両を用意していただいたので、その体験も心に残っている様子がうかがえました。「VR訓練でも火事があった時でも落ち着いて行動できそうです。他にもいろんなことを教えてもらって楽しかったです。」という感想が聞かれました。「途中で気分が悪くなったときに、優しく対応してくれた。他の小学生や大学生と仲良くなれてよかったです。」と回答していた児童も見られました。</p> <p>また、みかん狩りについては直接防災には関係はありませんが、参加者にとって河内町の産業に触れる機会にするとともに、地域の人的・物的資源を生かすという公民館の本質的なところもふまえて計画に入れたところ、児童にとっても好評でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

(南部公民館)

講座名	熊本地震再考 ～今後の備え～
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会(公民館講座)の充実 ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施
趣旨	南部公民館管轄地域でも熊本地震による液状化の被害が出た地域もあります。専門性の高い講師による熊本地震のメカニズムの説明と今後の備えとして意識すべき内容を包含させることで、地域力向上を目指した講座の企画・開催であります。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	講師にお願いしたのは、地域住民であり本館の自主講座代表を務めた経験をもつ高知大学名誉教授理学博士の田代正之先生です。地質学の専門的な観点と自身の研究成果をちりばめつつ大学での講義内容を扱うとのことであったので、公民館の講座として参加者の方にてできるだけ平易で分かりやすく講義してほしいという趣旨のもと打ち合わせを行いました。 3回の講義で、基礎的な部分の理解と確認、地震のメカニズムについて、今後に備えるということは、との構成で進めてもらいました。 
事業のその他の情報	【講師】田代正之さん(高知大学名誉教授 理学博士) 【日時】10月11日・18日・25日(金曜日) 午後1時半～3時半<全3回> 【対象】どなたでも 【参加費】無料
成果と課題	参加者の方からは講座内容も好評で、「深く学べる」「質問に答えてもらったのでありがたかった」という意見が多く寄せられました。 講座の企画段階での宣伝に課題があり、講座の参加希望者を募る段階でかなり難航しました。講座のタイトルを決めるところから専門性も敷居も高い講座だろうと受け取られたかもしれません。 (以下、閉級式の最後の感想交流より) ・先生が「ここまでは分かりますか?」と小休止しながら講座を進めてくれたおかげで不明な点を確認しながら学習を進めることができました。 ・地震(地球)は常に活動中であるという認識を持つことといつ起きても不思議でないということが理解できました。 ・3回の講座であったが専門的な学びもあり、次回の企画が楽しみです。

講座名	飽田地区家庭教育学級合同研修会 ～防災講話と防災食調理実習～
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施
趣旨	3年前の熊本地震での経験をもとに、防災への意識向上を図るための地域の施設や生きるための行動の仕方を学ぶ講座を開催しました。また非日常的な場面を想定しての食の体験（ペットボトルピザとビニールの器でつくるわかめスープづくり）を行うことにより、災害時の対応力の向上をねらいました。今回はまちづくり班と連携し、飽田校区3小学校と1中学校の家庭教育学級参加者をターゲットにして、親子で学ぶ防災教室としました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>熊本地震で体験した衣・食・住への不便さや、その解決方法を思い起こすとともに、解決への手立てについて学び経験することによって、防災意識の持続と向上を親子で学ぶ機会と考えました。</p>  
事業のその他の情報	【対象】 飽田3小学校家庭教育学級参加の親子 【日時】 令和元年11月2日（土）午前8時半～午後1時 【講師】 高千穂さくらさん（FM791）他 【費用】 無料
成果と課題	<p>経験した熊本地震から、また起こった場合やその他の災害が起きた場合には、何が必要でどんな行動が必要かを学ぶことができました。また、いつ起こるかわからない災害への備えとして、準備物や心構えについても思い返し、親子で協力しながら、非日常的な災害への備えと心構えを楽しく学びました。</p> <p>参加者の募集を家庭教育学級長さんに依頼しての募集でしたが、中学校の親子参加が少なかったように思われました。意欲的に参加いただける講座の企画と運営について再検討したいと思います。</p>  

講座名	ほくぶハートフル学習ルーム・赤十字の国際医療支援と災害復興支援
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会(公民館講座)の充実 ① 関係課や関係機関(NPO等)と連携した講座の実施 ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施
趣旨	赤十字の国際医療支援や災害復興支援の実態理解を通して、諸外国の災害事例(地震・豪雨など)対策の課題を学ぶことをねらいました。今後の災害を想定して防災意識を高めるとともに、災害時の「自助」・「公助」・「共助」の考え方を深めることをねらいました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	本事業は、UDの視点から旅行代理業を運営する「旅のよろこび」との連携・共催事業として、年間8回実施しているシリーズで、今年度1回目の学習として位置付けました。この学習ルームでは、障害者理解をはじめとした各種の人権講演等を通して、共生(インクルーシブ)社会の実現に向けた地域社会の素地をつくることを目的としています。また、活動内容を人権に限定せず、人権から派生・発展させた内容も取り入れることで、内容を充実させることにつなげています。
事業のその他の情報	【対象】 どなたでも(参加者 48人) 【日時】 令和元年 4月18日(木) 午後7時~8時半 <全8回> 【講師】 今村尚美さん(熊本赤十字病院 国際医療救援部 看護師長) 【費用】 無料
成果と課題	連携・共催団体の「旅のよろこび」のネットワークにより、平日・夜間の実施にもかかわらず、毎回ほぼ定員に達する参加者を確保することができています。 参加者の中には、医療系の大学・専門学校等の学生も多く、数は多くありませんが、若い世代の公民館利用者のきっかけになるケースもみられるようになりました。 人権をテーマにした内容を中心に学習を進めてきましたが、「高齢者の介護」・「子ども食堂」・「難病との闘病」・「防災」など、学習内容を広げたことで参加者の年代等も広がりがみられるようになりました。 参加者の中から、単発の学習で終わらせず、フォローアップ・ブラッシュアップの機会を求める声があがってきています。次年度以降の課題として受け止めていくことにしました。
	

講座名	人権講演会(コンサート)「僕を見て…」～高次脳機能障碍と向き合いながら～
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会(公民館講座)の充実 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施
趣旨	現在問題となっている「障碍」者の社会参加をテーマに「障碍」と向き合いながら、プロの歌手として活躍されている方を招聘し、現状や課題等への理解を深めるとともに、「高次脳機能障碍」について正しく知り、社会に根強く残る「差別意識」の解消に向けて、自分たちにできることを再認識する良い機会とすることとしました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	「あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会の実施」の視点に立って、今回は、「障碍」者の人権に焦点を当て、「高次脳機能障碍」という、特に「記憶力」が著しく厳しい障碍と向き合いながら、プロ歌手として活躍されている一ノ瀬たけしさんを講師に招き、コンサートを実施したり、今までマスコミ等で取り上げられたビデオを視聴したり、たけしさんの歌手活動を支える家族、特にお父さんのお話を聞いたりする中で、参加者の人権意識の高揚と「差別」解消に向けて自分たちができることを再認識する場となりました。 
事業のその他の情報	【対象】 市民、五福公民館講座生など (参加者 40人) 【日時】 12月22日(日) 午前10時～正午 【講師】 一ノ瀬たけしさん(プロ歌手) 【費用】 無料
成果と課題	コンサートを通して、「高次脳機能障碍」について正しく知ることができました。また、「障碍」に対して、社会の中に根強く残る「差別の現実」を知ることにより、どうすれば、差別を解消できるのか、考える良い機会となりました。 できるだけ多くの方々にコンサートに参加していただきたく、ホームページ、市政だより、チラシ等で広報しましたが、なかなか多くの参加を得られることができませんでした。今後も、できるだけ多くの方々に参加していただき、差別解消へとつなげていきたいので、広報の仕方等、さらに効果的な方法を考えていきたいと思っております。

講座名	教養講演会「ひとりぼっちをつくらない地域づくりを、性の多様性から考える」
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施
趣旨	自主講座に参加される講座生及び講師の皆さんにも LGBT についての理解を深めていただき、全ての方が公民館の事業に気持ちよく参加できる素地を作りたいと考え、自主講座開講式の記念講演会として実施しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>昨年度末、LGBTと思われる方から性別制限のある自主講座への参加のご相談がありました。今後も同様の件は起こりうることであり、本市では、人権が尊重される豊かで暮らしやすい社会の実現に向け、LGBTなどの性的マイノリティへの様々な支援を進めていることから、LGBTへの理解を深め啓発をしていく必要性を感じました。</p> <p>そこで、昨年度他館でLGBTをテーマにした講演会をされていた森あいさんに講演をお願いしました。森さんは、セクシュアルマイノリティにとっても住みやすい熊本にするために活動するグループ「くまにじ」のメンバーであり、弁護士でもあります。今回の講演会の企画の意図、また、昨年度末の事例についても情報提供をして講演していただきました。森さんとともに、当事者の松崎さんにもお話していただくことになりました。</p> <p>講演は、日本国憲法のお話から始まり、LGBTの方々の現状、現実を森さんの体験や松崎さんの当事者としての生の声、また動画の視聴から考えていきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 どなたでも（参加者 約90人 主に自主講座生・講師）</p> <p>【日時】 4月13日（土） 午前10時～正午</p> <p>【講師】 森あいさん（くまにじメンバー・弁護士） 松崎志麻さん（くまにじメンバー）</p>
成果と課題	<p>アンケートの回答は前向きな感想が多く、これから自主講座に参加される方への啓発という今回の講演会の目的は概ね達成できたように思います。「みんなちがってみんない」「普通を立ち止まって考えてみる」といった言葉が、参加者の印象に残った言葉として挙げられていました。また、当事者の生の声は特に訴える力が強く、講演を聞かれた方がLGBTの方に共感し、前向きに捉えることにつながっていました。</p> <p>一方で、「開講式の記念講演会の演題としては重く、ふさわしくない」とのご意見、否定的な意見もありました。</p> <p>講師の方からは、「このような場での講演会は初めてだった（学びたい方が対象の講演会や研修が多い）ので、有意義でした。」との感想もいただきました。いろいろな場面を捉えて啓発する大切さも感じました。</p>

講座名	教養講演会「落語で語ろう人権問題」
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会(公民館講座)の充実 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施
趣旨	熊本市人権教育の推進についての取り組みに基づき、あらゆる世代を対象とした人権教育・啓発活動の一つとして本講演会を開催しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>同和対策審議会答申において部落差別の解決は国の責務であり、同時に国民的課題であると明記されています。熊本市人権教育の推進についての社会教育における取組の中にも社会教育施設等における効果的な情報発信と学習機会の充実があげられており、公民館の主催講座としてのより一層の取り組みが求められる領域です。</p> <p>講師は粗忽屋勤心さんで、市民の方に抵抗なく人権について認識を深めてもらえるように落語を通して人権問題を考える講演内容にいただきました。実際には落語という芸能文化を通し、障害者差別、男女平等、部落差別、インターネットによる人権侵害などに触れていただき、十分な啓発につなげていただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 どなたでも (参加者 45人)</p> <p>【日時】 11月30日(土) 午前10時~11時半</p> <p>【講師】 粗忽屋勤心さん(落語家) 【参加費】 無料</p>
成果と課題	<p>一番の成果は市民の方に一方的に人権問題について考えてもらう講演会でなく、落語を通して、抵抗なく人権問題に触れてもらうことができたところです。熊本市の人権教育課題として同和問題をはじめ多数の課題があげられますが、今回の講演会でも障害者の人権、男女差別の問題、インターネットによる人権侵害などの複数の事例に対して理解を深めてもらうことができました。</p> <p>参加者の感想としては、「人権問題なので最初は堅い話だと思っていたけれど、楽しくお話を聞くことができました。」「今日来ていなかった人はもったいなかったですね。」「すごい先生がいらっしゃるんですね。自主講座の開講式にまたお願いしたいぐらいです。」という感想が聞かれました。</p> <p>講演会の前に自主講座生によるステージ発表を開催しました。その時点では90人近い方が会場にいらっしゃったのですが、講演会が始まる直前に半数ほどの方が退出されました。講師の先生はそこを上手に講演の内容に加えてくださり、その後の講演会はスムーズに進みましたが、やはりお一人お一人に自分事としてとらえてもらえるような啓発の在り方を考えていきたいと思えます。</p>

講座名	人権講演会「夢への道のり」 ～中尾 有紗さん～
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会(公民館講座)の充実 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施
趣旨	2016年4月1日に障害者差別解消法が施行され、障がい者への差別の禁止や、合理的配慮の提供が求められるようになり、約3年半が経過しました。しかし、施行後に相模原障害者施設殺傷事件(以下、相模原事件)が生じていることから、差別・偏見の解消や合理的配慮の普及に関しては、まだ多くの時間を要するといえます。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>人権講演会「夢への道のり」の様子</p> <p>2020年東京オリンピックは、今後の日本社会を「共生社会を目指す大会」として位置づけています。本市では、あらゆる人権課題について、誰もが親しみやすく、わかりやすく感じられる啓発に努めていることから、障がい者への理解を深めていく必要性を感じました。中尾さんは、2015年の日本陸上競技選手権女子3段跳びで、13m90cmで日本一になられています。2016年に、筋力中にトレーニング中に、事故が起きてしまい、脊髄を損傷し、下半身麻痺になられています。</p> <p>講演は、競技歴から、障がい者や障がい者スポーツの現状や課題、生きがいについて、講話がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 市民、幸田公民館講座生など (参加者 100人)</p> <p>【日時】 5月26日(日) 10:00～11:30</p> <p>【講師】 中尾 有紗さん</p> <p>【費用】 無料</p>
成果と課題	<p>参加された方々の感想として、講話を通して、障がい者の立場や置かれている状況について正しく理解することができました。「残されたものを最大限に生かせ」のパラリンピック提唱創始者の言葉の意味をとらえる機会となり、人生の歩みについて考えることができました。「障がい者」に対しての「不具合の現実」を知ることにより、どうすれば不具合を解消できるのか、考える機会ともなりました。等が、あげられました。参加者は、小学生から、70代までと幅広く、各世代が一同に集まることができ、質問も多く出され、人権意識を共有できました。講師の方からは、「障がいを持ったことで、この場所に来て、みなさんと会えていい思い出になりました。」との感想もいただきました。定員200人のホールに100人の参加があり、充実していたので、更なる参加がえられるような広報の仕方について検討課題です。</p>

講座名	2019年度城南町人権文化セミナー
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会(公民館講座)の充実</p> <p>① 関係課や関係機関(NPO等)と連携した講座の実施</p> <p>③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施</p>
趣旨	<p>人にやさしく、自分にやさしいまちづくりのために、あらゆる人権課題を身近なものとしてとらえ、正しい知識の習得と人権感覚の高揚をめざします。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>地域の課題である人権教育の推進をめざし、地域住民のほか地域の公立学校・幼稚園職員・PTAや行政職員が、「人にやさしく、自分にやさしいまちづくり」に必要な知識やスキルをつける(人権意識の高揚につなげる)ための講演会を実施しました。</p> <p>多岐にわたる人権課題の解決のために、年間6回の講演会を開催。内容もあらゆる人権課題をテーマに、各人権課題について専門的な講師を迎えて、わかりやすく、しかし深く掘り下げて考える機会としています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 各学校保護者・教職員、行政職員、地域住民一般 (参加者 約50人)</p> <p>【日時】 令和元年6月～2月 該当月第2水曜日 全6回</p> <p>【講師】 第1回 戸田俊文さん(情報モラル) 第2回 中島眞一郎さん(外国人の人権) 第3回 ホライズン(人権バンド) 第4回 波口恵美子さん(犯罪被害者の人権) 第5回 緒方正雄さん(同和問題) 第6回 (都合により中止)</p> <p>【費用】 無料</p>
成果と課題	<p>あらゆる人権課題(今年度は情報モラル・同和問題・犯罪被害者の人権・外国人の人権のほか人権全般)の講演会を実施できたので、参加者も様々な人権課題について正しい知識を得ることができました。また講演された講師の話聞いて、学校やPTA研修会などに依頼希望があり、さらに広がりが見られました。</p> <p>専門性が高くなりすぎたり、情報が多すぎたりすると、理解が難しくなってしまうので、事前にしっかりと打ち合わせをしておく必要があると思います。</p>

講座名	子どもたちの未来のために
該当する重点事業の項目	(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施
趣旨	犯罪被害に遭った方が受けた思いを知ることで、子どもたちの未来のためにも犯罪を防ごうという思いをもつ目的で、本講演会を開催しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>昨今、ニュースで痛ましい事件について知ることが多いです。ニュースを見ている時、子どもや家族、周囲の方に注意を促す時などには、事件のことを意識していると思います。しかし、時間が経つと、つい事件の記憶も薄らいでいきます。また、ニュースを見ても「ひどい。」「かわいそう。」などは考えますが、我が身に実際に事件が起きたらと真剣に考える方は少ないと思います。</p> <p>今回、清水地域での事件で我が子の命を失った清水誠一郎さんの思いや経験したことを講演していただきました。事件に巻き込まれたら家族はどうなるのか、わが子が急に居なくなった時にはどうなるのか、そして事件後にどのようなことが起きたかを聞くことで、実際に事件に遭うということはどれだけ大変な思いをするかを知ってほしいと企画しました。またこの講演を聞いた後に、わが子や家族、周囲の方への注意喚起だけでなく、なにより側で生きていてくれることへの感謝の気持ちを感じ取ってもらえればと思いました。</p>
	
事業のその他の情報	【対象】 家庭教育学級生及び市民（参加者 50 人） 【日時】 5 月 17 日（金）午前 11 時～正午 【講師】 清水誠一郎さん（犯罪被害者遺族心の会） 【費用】 無料
成果と課題	<p>日頃、メディアで事故や事件を知っても、その場で慮ることはあってもなかなか深く考えるまでには至りません。今回の講演を聞き、過去に起こった事件ではなく、その事件の影に家族がどれだけ大変な思いをしているかを知ることができました。命の大切さを改めて思い知るとともに、子どもたちの未来のためにもみんなで犯罪が起きない世の中を作らないといけないと痛感しました。</p> <p>講演では事件のことについて触れなければならないので、聞く人によっては講演の内容に驚きや衝撃を受けたかもしれません。また、家庭教育学級の開講式と合わせても参加者が 50 人くらいと少なかったため、たくさんの方に聞いていただくためにも広報や案内にもっと工夫が必要だと思いました。</p>

2019年度 人権教育・啓発講演会等の実施状況

	主催等	期日	講演会等名称	講師等（所属等）	演題	人権課題
1	中央公民館	1月26日	人権講演会	宮川 和夫さん (旅のよこび株式会社代表)	旅は人生の楽縁	障がい者
2	人権教育指導室 大江公民館	10月23日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今の私たちが、 水俣病を知ることの大切さ	水俣病
3	人権教育指導室 大江公民館	10月25日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今の私たちが、 水俣病を知ることの大切さ	水俣病
4	人権教育指導室 大江公民館	10月28日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今の私たちが、 水俣病を知ることの大切さ	水俣病
5	人権教育指導室 大江公民館	11月9日	教養講演会	あそどっぐさん (お笑い芸人)	あそどっぐトークライブ 「笑がい者の僕」	障がい者
6	人権教育指導室 大江公民館 熊本県知事部局	11月22日	ハートフル講演会	永本 賢二さん	水俣病について	水俣病
7	人権教育指導室 大江公民館	12月11日	ハートフル講演会	入江 里美 さん (くまもとと子どもの人権テーブル)	ひとつのいじめはみんなの危険 信号	子ども
8	人権教育指導室 大江公民館	1月16日	ハートフル講演会	浅井 喜子さん (エンジェルの会)	駿ちゃんがくれた贈り物	子ども
9	人権教育指導室 大江公民館	1月21日	ハートフル講演会	大山 桂司さん (シンガーソングライター)	盲目のシンガーソングライター と共に	障がい者
10	人権教育指導室 大江公民館	1月30日	ハートフル講演会	寺本 真将さん (Street Children Class)	ストリートチルドレンに学ぶ生 き方	子ども
	大江公民館	3月5日	家庭教育学級 合同講演会	吉永 利夫さん (一社水俣病を語り継ぐ会理事)	題：「未定」	水俣病
11	人権教育指導室 五福公民館	7月10日	ハートフル講演会	三坂 恵人さん (妙立寺院首)	戦時中の暮らしについて	人権全般
12	五福公民館	7月14日	市民企画講座	酒井 昭治さん (くまもと文化・科学研究会代表)	ツルに学ぶ家族愛・友達愛	人権全般
13	人権教育指導室 五福公民館 ふれあい文化セ ンター	11月9日	ハートフル講演会	朝長 民子さん 浦田 藤枝さん (原爆被害者遺族会)	戦争と平和について	その他
14	五福公民館 熊本市人権啓発 市民協議会	12月22日	人権講演会 (コンサート)	一ノ瀬 たけしさん (歌手)	「ぼくを見て・・・」 ～高次脳機能障害と向き合いな がら～	障がい者
15	人権教育指導室 五福公民館	1月31日	ハートフル講演会 <五福小6年生>	寺本 真将さん (Street Children Class)	ストリートチルドレンに学ぶ生 き方	子ども
16	東部公民館	7月6日	人権講演会	飯開 輝久雄さん (人権バンド・ゆう)	あなたの身のまわりに人権を考 えるきっかけが	人権全般
17	託麻公民館	4月13日	教養講演会 (自主講座開講式記 念)	森 あいさん 他 (くまにじメンバー・弁護士)	ひとりぼっちをつくらぬ地域 づくりを、性の多様性から考え る	性的少数 者
18	人権教育指導室 託麻公民館	6月13日	ハートフル講演会	中 修一さん (菊池恵楓円退所の会「ひまわ りの会」)	ハンセン病にかかわる人権学習	ハンセン 病
19	託麻公民館	6月18日	教養講演会 (家庭教育学級合同 講演会)	田中慎一郎 さん (熊本市教育委員会総合支援課 指導主事)	子どもたちのインターネット事 情と大人がすべきこと～子ども のための情報モラル教育の進め 方～	情報モラ ル
20	託麻公民館	9月1日	教養講演会	田中 美帆さん (男女共同参画センターはあも にい職員)	日常的に災害に備える ～さまざまな立場の視点に立っ て～	震災被災 者等
21	託麻公民館	12月8日	教養講演会	飯開 輝久雄さん (人権バンドゆう)	あなたの身のまわりに人権を考 えるきっかけが・・・	人権全般
22	秋津公民館	11月17日	家庭教育学級合同講 演会(教養講演会)	大山 桂司さん (シンガーソングライター)	見えないけれど心に響く歌を届 けます	障がい者
23	秋津公民館	12月8日	教養講演会	坂本 みゆきさん	水俣病と向き合っ て～私の人権課題です～	水俣病
24	人権教育指導室 秋津公民館	1月23日	ハートフル講演会	千田 浩未さん (KumaVisit代表・FMパーソナ リティ)	変わる熊本、変わる世界、変わ る自分	人権全般
25	人権教育指導室 秋津公民館	1月24日	ハートフル講演会	秋山 大路さん (リデル、ライト両女史記念館 館長)	ハンセン病問題、リデル、ライ ト両女史の活動(仮)	ハンセン 病
26	人権教育指導室 西部公民館	10月24日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今わたしたちが、水俣病を知る ことのたいせつさ	水俣病

2019年度 人権教育・啓発講演会等の実施状況

	主催等	期日	講演会等名称	講師等（所属等）	演題	人権課題
27	人権教育指導室 西部公民館	10月31日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今わたしたちが、水俣病を知る ことのたいせつさ	水俣病
28	西部公民館	11月30日	教養講演会	粗忽家勘心(中村 陽)さん (落語家)	「落語で語ろう人権問題」	人権全般
29	人権教育指導室 西部公民館	12月10日	ハートフル講演会	西川 悟平 さん (ピアニスト)	ピアノコンサート	障がい者
30	花園公民館	6月23日	花園公民館主催講座 (家庭教育学級合同)	熊本市障がい保健福祉課職員 熊本市社会福祉協議会職員	みんなで取り組む障がい者サ ポーター研修	障がい者
31	人権教育指導室 花園公民館	12月17日	ハートフル講演会	中尾 有沙さん (ゆうわ会)	夢への挑戦 ～三段跳びから車いす陸上へ～	障がい者
	花園公民館	3月14日	地域連携市民参加型 人権啓発推進事業講 演会	masashi (ダンサー)	音楽舞台ユドグラシル宇宙の樹	人権全般
	花園公民館	3月22日	花園公民館 ふれあい講演会	伊藤 雅史さん	(仮題) 若者の自殺を減らすた めに	人権全般
32	河内公民館	6月14日	おでかけ公民館講座 (河内地域公民館 連絡協議会)	小林 祥子さん (ふれあい文化センター 社会教育主事)	身近な人権について	人権全般
33	河内公民館	1月9日	教養講演会 (生きがい学級)	大山 桂司さん (シンガーソングライター)	「シンガーソングライター大山 桂司」とともに	障がい者
34	人権教育指導室 河内公民館	2月4日	ハートフル講演会	山本 行文さん	私とスポーツ	障がい者
35	南部公民館	9月29日	教養講演会 「人権に関する講 演」	小林 祥子さん (ふれあい文化センター)	みぢかな人権問題学習 ～わたしの体験より～	人権全般
36	人権教育指導室 南部公民館	10月16日	ハートフル講演会	入江 里美さん (くまもと子どもの人権テー ブル)	ひとつのいじめはみんなの危険 信号	子ども
37	人権教育指導室 南部公民館	10月19日	ハートフル講演会	浅井 喜子さん (エンジェルの会)	駿ちゃんがくれた宝物～大切な 命～	障がい者
38	人権教育指導室 南部公民館	10月31日	ハートフル講演会	岸 信子さん	なりたいお母さん	人権全般
39	人権教育指導室 南部公民館	12月3日	ハートフル講演会	村上 奈美さん (マリオネット)	その使い方で大丈夫？知ってお きたいゲームとスマホの情報モ ラル	情報モラ ル
40	人権教育指導室 南部公民館	12月5日	ハートフル講演会	斉藤 誠一さん (元アナウンサー)	あなたを幸せにする「思いやり の心」	人権全般
41	人権教育指導室 南部公民館	12月6日	ハートフル講演会	弓削田 健介さん (合唱作曲家)	いのちと夢のコンサート	人権全般
42	人権教育指導室 南部公民館	12月15日	人権講演会	中尾 有沙さん (ゆうわ会)	夢への挑戦 ～陸上三段跳びから車いす陸上 へ～	障がい者
43	幸田公民館	5月26日	教養講演会 「人権に関する講 演」	中尾 有沙さん (ゆうわ会)	夢への道のり	障がい者
44	人権教育指導室 飽田公民館	10月25日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今の私たちが、 水俣病を知ることの大切さ	水俣病
45	人権教育指導室 飽田公民館	11月1日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今わたしたちが、水俣病を知る ことのたいせつさ	水俣病
46	飽田公民館	11月1日	ハートフルコンサ ート	岡村 暁子さん 渡辺 雪子さん 雑賀 和名花さん	相手意識と音の重なりのおぼ ろしさ	人権全般
47	飽田公民館	1月26日	教養講演会	小林 真寿子さん (平成音大音楽療法講師)	音楽療法 ～認知症の方々と～	高齢者
48	天明公民館	6月15日	教養講演会	吉田 真理子さん (熊本保健科学大学リハビリ テーション学科生活機能法学専 攻教員)	認知症予防のための楽しい脳ト レ	高齢者
49	人権教育指導室 天明公民館	12月3日	ハートフル講演会	大村 詠一さん	夢をあきらめない	人権全般
50	富合公民館	6月8日	教養講演会	三角 陽司さん (元富合小学校長)	無限の可能性を伸ばそう	子ども
51	富合公民館	8月22日	教職員人権研修会	田上 美沙さん (熊本市子ども政策課) 小林 祥子さん (ふれあい文化センター)	児童虐待の現状	子ども

2019年度 人権教育・啓発講演会等の実施状況

	主催等	期日	講演会等名称	講師等（所属等）	演題	人権課題
52	人権教育指導室 富合公民館	10月24日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今わたしたちが、水俣病を知る ことのたいせつさ	水俣病
53	富合公民館	11月9日	教養講演会	大山 桂司さん (全盲のシンガーソングライ ター)	見えないけれど、心に響く歌を 届けます	障がい者
54	城南公民館	6月12日	教養講演会 「人権文化セミ ナー」	戸田 俊文さん (真和中・高校情報専門講師)	ネット社会をかしこく豊かに生 き抜く7つの知恵	情報モラ ル
55	城南公民館	7月10日	教養講演会 「人権文化セミ ナー」	中島 眞一郎さん (コムスタカ外国人とともに生 きる会)	外国人の人権	外国人
56	城南公民館	9月11日	教養講演会 「人権文化セミ ナー」	人権バンド・ホライズン	出会い・触れ合い・学び愛	人権全般
57	城南公民館	10月9日	教養講演会 「人権文化セミ ナー」	波口 恵美子さん (くまもと犯罪被害者支援セン ター)	子どもへの性暴力 ～その理解と支援のために～	犯罪被害 者
58	人権教育指導室 城南公民館	10月31日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今わたしたちが、水俣病を知る ことのたいせつさ	水俣病
59	人権教育指導室 城南公民館	12月1日	ハートフル講演会	砂川 真澄さん (くまもと子どもの人権テー ブル)	いじめを防止・解決するために 10の提案	子ども
60	城南公民館	1月15日	教養講演会 「人権文化セミ ナー」	緒方 正雄さん (和水町地域人権教育指導員)	部落問題学習をどう創造してい くか ～私たちの部落問題認識を問い 直す中で～	同和問題
	南区6公民館	3月14日	南区6公民館合同人権 啓発講演会	矢野 大和さん (人権口演活動家)	笑って元気 ～身近な人権を考えよう～	人権全般
61	龍田公民館	10月30日	家庭教育学級 合同講演会	今坂 洋志さん (ともに拓くLGBTQ+の会くまも と)	だれもがすごしやすい社会にす るために、わたしたちができる こと	性的少数 者
62	人権教育指導室 龍田公民館	10月23日	ハートフル講演会	三枝 三七子さん (絵本作家)	今の私たちが、 水俣病を知ることの大切さ	水俣病
	龍田公民館	3月7日	教養講演会	あそどっぐさん (寝たきり芸人)	あそどっぐのトークライブ ショー	障がい者
63	清水公民館	5月17日	教養講演会	清水 誠一郎さん (犯罪被害者遺族)	子どもたちの未来のために	子ども
64	人権教育指導室 清水公民館	11月26日	人権集会 (子どもフォーラ ム)	中尾 有沙さん (ゆうわ会)	夢への挑戦 ～三段跳びから車いす陸上へ～	障がい者
65	清水公民館	12月16日	校内研修	清水 誠一郎さん (犯罪被害者遺族 心の会)	子どもたちのみらいのた	犯罪被害 者
66	北部公民館	4月18日	ほくぶハートフル学 習ルーム	今村 尚美さん (熊本赤十字病院看護師長)	赤十字の国際医療救援と災害復 興支援	震災被災 者等
67	北部公民館	5月16日	ほくぶハートフル学 習ルーム	村田 洋子さん (認知症の人と家族の会)	夫が若年性認知症となって	高齢者
68	北部公民館	6月20日	ほくぶハートフル学 習ルーム	清藤 千景さん (清藤クリニック)	認知症があっても自分らしく輝 ける地域をめざして	高齢者
69	北部公民館	7月18日	ほくぶハートフル学 習ルーム	野村 順子さん (地域コーディネーター)	子ども食堂の今・未来	子ども
70	北部公民館	12月19日	ほくぶハートフル学 習ルーム	藤野 隆さん (革細工製作者)	障がいと共に生きる 片手でつくる革作品	障がい者
71	北部公民館	1月16日	ほくぶハートフル学 習ルーム	大林 由紀さん (ピアノボランティア奏者)	アダルトチルドレン	子ども
72	北部公民館	2月20日	ほくぶハートフル学 習ルーム	青木 康正さん (オリーブの家理事長)	真の共生をめざして	出所した 人
	北部公民館	3月19日	ほくぶハートフル学 習ルーム	清藤 千景さん (清藤クリニック院長)	医療・教育現場で活用される分 身ロボット	人権全般
73	植木公民館	11月29日	教養講演会	清水 誠一郎さん (犯罪被害者遺族)	命の大切さを学ぶ機会に	犯罪被害 者
74	人権教育指導室 植木公民館	2月13日	ハートフル講演会	中尾 有沙さん (ゆうわ会)	夢への挑戦 ～陸上三段跳びから車いす陸上 へ～	障がい者
75	北区4公民館	12月7日	北区公設公民館 合同人権講演会	村上 美香さん (ヒトコト社代表)	生きやすい世の中って？	人権全般

2019年度 人権教育・啓発関連講座等の実施状況

	主催等	期日	講座名	講師等（所属等）	内容	備考 （対象・その他）
1	中央 公民館	9月20日～ 2月21日～	コミュニケーション スキル	宮崎 真由美さん （キャリアカウンセ ラー）	「相手を尊重し、相手のために聴く」ということを学び、相手の立場に立って、相手の気持ちに共感できるような姿勢を身につける。	・50～70代 ・各5回
2	大江 公民館	5月24日～	心が通じる手話入門	講師：中田 順子さん 通訳：本田 郁子さん	初心者を対象とした手話入門講座	・18歳以上の方 ・5回
3	五福 公民館	2月6日	スリランカのフェア トレードの取り組み を通してコーヒーの 美味しい入れ方講座	生山 洋一さん 松生 由紀子さん （日本フェアトレード 協会）	スリランカの国の位置、歴史やくらしの現状を学び、フェアトレードの取組を理解した上で、コーヒーの美味しい入れ方を学ぶ。	・五福小学校家庭教 育学級生
4	東部 公民館	12月14日	みんなで一緒に孫育 て！	NPO法人教育支援プロ ジェクト・マスターズ 熊本	身近なご自分のお孫さんだけではなく、地域の子供たちと一緒に育てていくための知識と話術を学ぶ。	・どなたでも ・地域の子育て家庭 の孤立を防ぐために 声掛けを求めた。
5	東部 公民館	1月25日	どぎゃんかなる！プ ラス思考でいこばい	NPO法人教育プロ ジェクト・マスターズ 熊本	悩んでいることがあっても前向きに生きるためのヒントを学ぶ。	・どなたでも ・誰かとコミュニ ケーションをとるこ とで一人にならない ことがテーマとなっ た。
6	託麻 公民館	6月18日～	傾聴入門 ～言葉と心を受け入 れるコツ～	中村 典子さん	傾聴の入門講座	・どなたでも ・3回
7	託麻 公民館	9月20日～	初心者のためのはじ めての手話教室	講師：中田 順子さん 通訳：川平 ひろみさん	初心者を対象とした手話入門講座	・どなたでも ・8回 ・長年託麻公民館で 開催されている講 座。経験者の方も受 講
8	託麻 公民館	10月17日	認知症サポーター養 成講座	ささえりあ保田窪職員	認知症を理解し、サポートするための基礎を学ぶ。	・どなたでも ・東区福祉課と連 携、福祉課が講師の 依頼などおこなっ た。（無料） ・地域で行われてい る徘徊模擬訓練との 連携を図るため、日 程等でまちづくり班 と協議
9	秋津 公民館	3月12日	「ハンセン病問題」 についてDVDで学ぶ	（DVD視聴）	DVD『壁をこえて』～菊池恵楓園の歴史に学ぶ～を鑑賞し学ぶ。	・どなたでも
10	秋津 公民館	3月15日	人間関係をより豊か にする『傾聴』	NPO法人教育支援プロ ジェクト・マスターズ 熊本	傾聴トレーニングと心構えについて学び、より良い人間関係を周りに広げていく。	・どなたでも
11	西部 公民館	9月13日	お出かけ公民館講座 （池上小学校4学年）	市社会福祉協議会	車椅子の体験・手話体験	・池上小学校4年生 ・41人 ・総合的な学習の時 間
12	花園 公民館	6月23日	親子で障がい者サ ポーター研修	市障がい保健福祉課職 員 社会福祉協議会職員	障がい者サポーターになるための講話と体験学習	・どなたでも
13	花園 公民館	9月29日	オレンジリボンサ ポーター講座	田原 泉さん （にじいろCAP）	児童虐待の現状と私たちにできる対応策について学ぶ。	・どなたでも

2019年度 人権教育・啓発関連講座等の実施状況

	主催等	期日	講座名	講師等（所属等）	内容	備考 （対象・その他）
14	河内 公民館	10月5日	おでかけ公民館講座 （河内小学校）	熊本子どもの本の研究会	おはなし会の中で人権に関する本も 選んで読んでもらう。 （低）ともだちや（中）王さまと九 人のきょうだい（高）山の上の火	・全校児童
15	河内 公民館	1月19日	人間関係を豊かにす る傾聴を学ぼう	教育支援プロジェク ト・マスターズ熊本	傾聴の基礎を学ぶ。	・どなたでも
16	南部 公民館	4月11日～	手話入門	鋤本 京子さん	初心者を対象とした手話入門講座	・どなたでも ・21回 ・長年南部公民館で 開催されている講 座。経験者の方も受講
17	幸田 公民館	5月16日～	手話入門	講師：中田 順子さん 通訳：本田 郁子さん	初心者を対象とした手話入門講座	・18歳以上の方 ・5回
18	飽田 公民館	11月1日	飽田西小ハートフル コンサート	岡村 暁子さん 渡辺 雪子さん 雑賀 和名花さん	相手の気持ちと繋がった時の音の響 きや良さを味わい、仲間との協力・ 協調の大切さを感じる。	・全校児童
19	天明 公民館	6月27日	はじめての藍染め体 験講座	明和学園	「障がい者多機能型施設」の「明和 学園」で日頃取り組まれている「藍 染め」作業に体験で参加する講座。 施設の障がい者との交流も兼ねて一 緒になって取り組む。	・どなたでも ・2回
20	富合 公民館	6月22日	信頼を築く傾聴	教育支援プロジェク ト・マスターズ熊本	相手の思いに寄り添う聴き方講座	・18歳以上どなたで も。家庭教育学級生 に案内
21	富合 公民館	7月19日～	フラダンスで予防医 療と介護予防	柴尾 逸子さん	フラダンスを通じた予防医療と介護 予防から高齢者の人権について学 ぶ。	・どなたでも ・3回
22	富合 公民館	9月7日	好感の持てる話し方	教育支援プロジェク ト・マスターズ熊本	相手の思いに寄り添う話し方講座	・18歳以上どなたで も。家庭教育学級生 に案内
23	富合 公民館	11月14日	バスの乗り方講座	熊本電気鉄道株式会社	高齢者が安心してバスに乗れるよう 乗り方の講座	・どなたでも
24	富合 公民館	1月17日	運転免許更新につい て考えよう	林 一子さん	高齢者の運転免許更新について考え る講座	・どなたでも
25	城南 公民館	6月7日	隈庄サロン「認知症 について」	林 一子さん	地域住民のふれあいの場の中で、認 知症予防とともに認知症についての 地危機を学ぶ。	・地域住民・高齢 者・民生委員
26	城南 公民館	6月12日～	心に寄り添う「傾 聴」講座	傾聴ネットキーステー ション	・傾聴の基礎 ・ボランティアへのつなぎ	・どなたでも ・7回
27	城南 公民館	7月16日	おでかけ公民館講座 （豊田小学校4学年）	東 和孝さん （歩行訓練士）	障がいのある方々と接していく中 で、理解を深める。	・豊田小学校4年生 43人
28	城南 公民館	8月3日	100円ショップから世 界を考える	JICAデスク熊本	国際理解の推進。多様な価値観・文 化を認める雰囲気をはぐくむ。	・親子
29	城南 公民館	10月11日～	楽しく学べる手話講 座	田中 みさ代さん	・手話の基礎 ・手話ボランティア活動へ	・どなたでも ・7回
30	城南 公民館	12月7日	認知症サポーター養 成講座	南区福祉課 南区社会福祉協議会	認知症を理解し、サポートするため の基礎を学ぶ	・どなたでも ・南区福祉課及び社 会福祉協議会と連携 して開催。

2019年度 人権教育・啓発関連講座等の実施状況

	主催等	期日	講座名	講師等（所属等）	内容	備考 （対象・その他）
31	龍田 公民館	1月24日～	心に寄り添う傾聴講座	傾聴ボランティアくまもと	・傾聴の基礎 ・ボランティアへのつなぎ	・どなたでも ・3回
32	清水 公民館	1月16日	親子、友達でコミュニケーションを楽しむ話し方、聞き方の工夫	橋本 絵鯉子さん	言葉のキャッチボールは、相手が変わりやすい話の組み立てをする。聞き手は聞いているよという言動に工夫をする。	・家庭教育学級で行い、公民館での一般募集も併せて行う。
33	北部 公民館	4月20日～	家族介護者のつどい	ささえりあ北部職員 ゲストティーチャー	介護者同士で思いや悩みを語り合う場、介護に関する情報交換の場、介護に役立つミニ講座	・どなたでも ・第3土曜 12回 ・「ささえりあ北部」との共催
34	北部 公民館	4月23日～	放課後子ども教室「グローバルプレイパーク」	熊本市国際交流会館登録のボランティア講師	講師の母国語を中心としたコミュニケーションづくり、異文化交流・国際理解・外国人への理解	・北部東小児童・保護者及び地域住民 ・毎月1回実施
35	北部 公民館	9月7日	認知症サポーター養成講座	安武 綾さん （熊本大学准教授）	認知症の理解、認知症を支える地域の力の重要性	・どなたでも ・「ささえりあ北部」との共催
36	北部 公民館	11月8日	いきいき100歳体操・体験&交流会	荒井 久仁子さん （熊本健康・体力づくりセンター健康科学トレーナー）	介護予防に関する意識を高める。住民主体による体操や交流の場の普及につなげる。生活の質（QOL）の維持の方法を学ぶ。	・どなたでも ・「ささえりあ北部」との共催
37	北部 公民館	12月21日	北部ふれあいクリスマス交流会	北部高校生ボランティアグループ・わいわいHVC	障がい者と健常者の交流、共生（インクルーシブ）社会の一員としての感性磨き	・「ほくぶキッズ遊学塾」塾生・管内特別支援学級の児童・生徒・北部中学生徒有志・北部地区青少年健全育成協議会会員
38	植木 公民館	5月18日～	男性料理	木戸 久美子さん	家庭での料理は女性がするものという概念をなくすため、男性にも料理の仕方を身につけてもらう。	・成人男性 ・5回 ・男女平等の視点

令和元年度（2019年度）重点事業

（2）学習成果を生かす

環境づくり

講座名	絵本の読み聞かせ講座
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供
趣旨	多くの子どもたちが本に親しみを持ち、読書を楽しむことが出来るように、図書室と共催で読み聞かせボランティア養成講座を開催しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>読書の楽しさ、おもしろさ、大切さ ～感動が心を育てる～</p> <ul style="list-style-type: none">・座学講習(読み聞かせボランティアについての心構えなど)・技術講習(読み聞かせや絵本の選び方など) <p>小さなお子様連れの参加者も多く、最初は子どもも楽しく参加できる絵本の読み聞かせをしていただきました。「おひさまあはは」「あぶくたった」「くるんぱのようちえん」では、子どもと一緒に声を出しながら、絵本を通して読み手と聞き手が楽しいことを学ぶことが出来ました。つぎに、読み聞かせの魅力や子どもに読書に親しませるためにはどのようにしたらよいかを、自分の子育ての失敗談を通して話していただきました。</p> <p>最後に、事前に受けていた質問や参加者の悩みに一つ一つ丁寧に答えていただき、後半の時間には図書室司書が子どもを対象として読み聞かせや絵本の紹介を行いました。</p>
事業のその他の情報	<p>【対象】どなたでも(参加者 15人)</p> <p>【日時】令和2年2月2日(日) 午前10時～11時30分</p> <p>【講師】北野裕子さん(家庭文庫「北野さんちの絵本部屋」主宰)</p>
成果と課題	<p>今後、家庭や学校で読書活動するためには、親自身も読書することや子どもに読み聞かせをすることが大切だと理解していただいたと思います。また、子どもを読書好きにさせるには…子どもに調べる習慣をつけてもらう等具体的な家庭での役割が理解できました。</p> <p>子どもが読書好きになると…知らない言葉や知識、考え方と出会うことができる、想像力が豊かになる、他人の気持ちを理解できるようになる、等メリットが多くあることを学ぶことができました。</p> <p>広報や呼びかけを継続して行ったにもかかわらず、参加が少なかったのは残念でした。</p> <div data-bbox="379 1541 831 1910"></div> <div data-bbox="914 1541 1366 1910"></div>

講座名	主催講座 図書室活動 「小さい子のお話会」
該当する重点事業の項目	<p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供</p>
趣旨	<p>お話ボランティア「なでしこ」が、絵本の読み聞かせ、わらべ歌、手遊びを乳幼児と保護者を対象に月に1回のペースで行っています。その活動の中で、お話ボランティアの養成も行なっています。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>「ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供」を主軸として、お話ボランティアをしてみたいと思われる地域の方々に「ごふくだより」等で呼びかけ、参加者を募りました。さらに、参加された方をお話ボランティアとして養成するために、話し方等コツをお話会の中で、実際にやりながら学習していく機会を提供することを図りました。</p> 
事業のその他の情報	<p>【対象】 0歳児～3歳児と保護者</p> <p>【日時】 令和元年4月～令和2年3月の各月の第1火曜日 午前10時半～11時半</p> <p>【講師】 お話ボランティア「なでしこ」 【費用】 無料</p>
成果と課題	<p>少人数であったが、お話ボランティアをしたくて参加された方々が、お話会の中で、実践を積む中で、話し方等、上達されていました。</p> <p>お話ボランティアとしての参加や小さい子のお話会への親子の参加、思うように人を集めることができませんでした。</p> <p>せっかくの機会なので、もっと多くの方々がお話ボランティアとして、また、小さい子のお話会の参加者として、集まってもらえるように、広報の仕方等、より効果的なやり方を探りたいと思います。</p>

講座名	地域のつどいの場を身近なところに
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会 (公民館講座) の充実 ② 震災での体験や教訓を生かした防災意識を持続させるための講座の実施</p> <p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供</p>
趣旨	<p>熊本地震を経験し、いざという時への備えや防災対策については、日常からのつながりが大切であることを実感しました。それをどのように具現化し、地域の人と人のつながりを作り出していくかについて学び、できそうなことを考え行動に移すことを目的として本講座を開催しました。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>地域のために活動している方の話を聞くことも、ボランティアや地域人材の養成へつながっていくと思われます。3つの事例を発表してもらいました。</p> <p><u>①秋津9町内自治会の「つながるカフェ」でのつどいの場作り</u></p> <p>簡単にお茶とお菓子を準備し集まる機会として始まったこの会も、会を追うごとにパン作りの得意な方の提供、絵本の読み聞かせが得意な方が大人を対象に実施、音楽の演奏、趣味の話など、住民の方の得意分野を活かしたことを取り入れ、つどいの場と共に住民の活躍の場にもなっています。まさにボランティアや地域人材の養成にもつながっていますが、何より自己有用感も獲得されていきます。</p> <p><u>②秋津第3公民館の「公民館だより」を通した地域のつながり作り</u></p> <p>地域の自然や史跡、歴史など、知っているようで知らなかったことや人物にスポットを当て、地域のよさの再発見につながっています。自分の地域のよさを知ることが、人と人のつながりの土台となります。</p> <p><u>③ささえりあ あさひばの「地域のサロン」活動の様子や立ち上げ方の報告</u></p> <p>地域公民館やコミュニティセンター等を会場として介護予防運動がなされ、介護予防サポーターの方が活躍されている様子を紹介していただきました。また、そのような会がない地域もあるので、立ち上げの相談窓口でもあり、支援されていること教えていただきました。</p> <div data-bbox="344 1422 699 1686"> </div> <div data-bbox="722 1422 1077 1686"> </div> <div data-bbox="1086 1422 1441 1686"> </div>
事業のその他の情報	<p>【日時】9月29日(日) 午前10時～正午 【対象】どなたでも 【費用】無料</p> <p>【講師】秋津9町内自治会長 橋本さん 秋津第3公民館長 三藤さん</p> <p>ささえりあ あさひば職員 田中さん</p>
成果と課題	<p>地域公民館長の研修の機会ともしたので、今回の集いの場作りについて取り組んでみたいという意欲が生まれたようです。一般の方の参加が少なかったが、これから何らかの形で地域へ貢献したいという気持ちがさらに高まっていました。今後さらに多くの方に自分事として「日常からの地域のつながりの大切さ」について考えていけるような働きかけの工夫が必要だと思ひます。</p>

講座名	オカリナサークルチャオ～クリスマスコンサート
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供
趣旨	公民館等で練習を重ねる地域の学習グループの活動を支援するものです。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	オカリナサークルチャオは公民館を活用している地域の学習グループの一つです。講師とグループのメンバー12人でミニコンサートを公民館ロビーで開催してもらいました。 演奏と合唱の練習に月2回公民館での練習に精力的に励んでいます。日ごろの練習の成果を市民にも見せてほしいという公民館の願いに応えてくださり、今回のコンサートの実施となりました。
事業のその他の情報	【費用】なし(ボランティアでの実施のため) オカリナ合奏、合唱全10曲を約30分程度披露してくださいました。参加者とともに合唱する場面も見られました。アンコールも含め12曲、45分程度の演奏を行いました。
成果と課題	昼休みの時間、ロビーの活用をねらって開催しました。音楽に気軽に触れる機会を市民に提供できたのはよかったと思います。演奏する側にとっても、発表のスキルを高めるための練習にもなり、学習への励みとなりました。 課題としては、演奏できる団体の条件が限られていることです。アコースティックな楽器であること、少人数であまり大きな激しい音は出せないこと、たくさんの人に親しみやすい音楽であることが挙げられます。 また、告知をより広く行うために、ホームページやおたより以外の方法も考えていかねばなりません。



講座名	はじめての手話
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供
趣旨	価値観の多様化を迎えた現代において、共生社会を担うに必要な手話者のニーズが求められています。財団法人熊本県聾者福祉協議会と連携し、手話通訳士の育成を図る講座を全8回シリーズで行いました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	熊本県聾者福祉協議会に登録されている聾者は220人で、その方々を支援する手話奉仕員は52人です。更に、厚生労働省が認定する手話通訳士は19人と少なく、高齢化も進み、若い世代の手話通訳士の養成が課題であります。 (手話講座の様子) 
事業のその他の情報	【対象】 市民など (参加者 30人) 【日時】 令和元年5月～8月 【講師】 中田順子さん 【費用】 無料
成果と課題	参加者から、「居住地の公民館で手話講座が実施できたのは、参加しやすい。」「夜間の講座なので、昼間働いているので参加しやすくよかった。」「仕事で手話が必要なので参加して為になった。」との意見が出されました。 更なる参加者を増やす広報の在り方について、考えていく必要があると思いました。  

講座名	ボランティアグループ「おはなしポッケ」による おはなし会
該当する重点事業の項目	<p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供</p> <p>③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援</p>
趣旨	<p>地域のボランティアグループ「おはなしポッケ」により、乳幼児とその保護者向けに、昔話、手遊び、紙芝居などを行う会です。「おはなし会」に参加し、絵本やわらべ歌などを聞くだけでなく、保護者と子どもも、一緒に語ったり歌ったり手遊びをすることで子どもへの関わりスキルを身に付け、保護者がおはなしを語る側として自宅などで子どもに関わることができるようになっていきます。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>親子の触れ合いだけでなく、地域の子どものうしや保護者どうしてのつながりをもつこと役割も担っています。また、会をオープンにして地域の方にもボランティアとして参加を募って「おはなし会」を体験してもらい、会の後継者を育成する機会にもなっています。</p>
事業のその他の情報	<p>【対象】 乳幼児と保護者</p> <p>【日時】 奇数月の第2火曜 午前10時半～正午</p> <p>【講師】 「おはなしポッケ」のみなさん 【費用】 無料</p>
成果と課題	<p><u>☆ 会に参加された保護者の方の声から</u></p> <p>「親子の触れ合いの機会はもちろん、同年代の他の子ども達との関わりや地域の方達にわが子が触れ合う機会ができてうれしい」という意見が聞かれました。「今時の電子ゲームなどではなく、失われつつある伝承遊びや歌などに触れる機会ができて、とても楽しい」という声もあり、参加者全員が会に参加してとても満足という回答でした。</p> <p>「参加する子どもの数が増えたらうれしい」とありましたが、地域の少子化に加え、国の政策の保育料無償化に伴い、保育園への早期入園に拍車がかかり、保護者が乳幼児を自宅で育てる家庭が数年前より激減し、このような会の集まりに参加する乳幼児たちが、ますます減少傾向にあります。</p> <p><u>☆ ボランティア体験で参加された方の方の声から</u></p> <p>「会に参加することで自分自身も生きる元気をもらうことができました。もっと実施回数を増やすことができれば」と意欲がある様子でした。</p> <p>「今のところボランティア体験者が1人だけなので、さらに体験者を増やしたい。」という意見がありました。しかし、地域のほとんどの大人が退職年齢後も仕事に従事するか、高齢化に伴う要介護者などが増える現状です。そのため日頃から地域にフリーで活動できる大人が減少傾向となり、参加を募ってもなかなか集まりません。</p>



講座名	植木の史跡・名所の歴史を学べ（ボランティア養成講座）
該当する重点事業の項目	<p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供</p>
趣旨	<p>植木公民館の管内には、田原坂をはじめ、いくつもの史跡・名所があります。それらを歴史的に学び、植木の良さを再発見してもらい、ボランティアガイドを務めていただけるような人材を発掘するという目的で講座を実施しました。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>実際にボランティア活動をされている方とふれ合ってもらうために、田原坂観光ボランティアガイドの会のみなさんに講師を務めていただき、必要な歴史的知識を与えていただきました。また、現地を見て回りながらの学習会も行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 植木校区在住か在勤の成人 【参加費】 無料</p> <p>【日時】 10月20日（日）・11月17日（日）・11月23日（土）・ 12月1日（日）・12月15日（日）・1月12日（日）・1月26日（日） 午前10時～正午＜全7回＞</p> <p>【講師】 田原坂観光ボランティアガイドの会のみなさん</p>
成果と課題	<p>植木の史跡・名所の歴史的学びや、植木の良さを再発見してもらうことはできましたが、ボランティアガイドを務めてもらえる方がいるかどうかはまだ未定です。</p> <p>その理由として、ボランティアガイドを受け入れる側としては、田原坂観光ボランティアガイドの会の会長さんが言われるには、知識があるから誰でもできるという訳ではなく、ボランティアガイドを務めるにはその人の人柄も大切である、ということでした。</p> <p>また、ボランティアガイドになる側としては、人に教えるためにはかなりの知識と話術が必要になるということでした。</p> <p>2つめのかなりの知識の必要性については、次年度以降も講座を継続することにより身につけていただこうと思っています。また、人柄に関しては、別の方面からのアプローチを試みてみたいと思います。</p>

講座名	学校での学習を地域に広げる場の設定
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ③ あらゆる人権課題を踏まえ、人権意識の高揚を図る講演会及び講座の実施</p> <p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充</p>
趣旨	<p>公民館は学校と地域を結ぶ重要な拠点として位置づけられています。公民館が子どもたちの学びや取組を発信することで、市民の方々への啓発活動や学校教育における児童生徒の学習を知る場になるものと考えます。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>毎年、人権週間に合わせてエリア内の小学生の人権作品や人権標語を募集し、公民館1階ロビーに飾り人権啓発事業に取り組んでいます。公民館を利用していただく方や作品が飾ってある子どもさんご家族の方など多くの方に人権作品を見ていただく場を設定することができ、子どもたちの作品を通して人権啓発を行うことができました。</p> <p>また、白川中学校1年生において道徳科の郷土学習「つなぐ～熊本の明日～」を使った授業実践の様子をまとめたものを公民館に掲示し、中学校での道徳教育の取組を広く市民の方に見ていただく学習の場を提供しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 エリア内小学校各学級1点（人権作品） 白川中学校1年（道徳科学習のまとめ）</p> <p>【期間】 人権作品 12月4日（水）～10日（火） 熊本の心 12月11日（水）～</p>
成果と課題	<p>人権作品の掲示は人権標語を季節に合わせてクリスマスツリーに飾ることで、自主講座生や一般の利用者の方によく見ていただいた。各学校でも担任の先生から展示された子どもさんにはお知らせをしていただいたこともあり、土・日には保護者の方と一緒に作品を見に来館される方も多くいらっしゃいました。</p> <p>また、授業実践の公民館掲示については、今回、中学校での道徳科の郷土学習のまとめを提供してくださった白川中学校の岩崎先生は実際に教材を作られた方であり、学校以外の場所に学習の成果を提供したいという考えがあり相談を受けることで今回の取組につながりました。学校からの依頼によっての場の提供ではなく、公民館側からのアプローチも積極的に行っていくことで学社連携がより強まると考えます。</p> <p>人権作品の展示期間が1週間と短いこともあり、掲示期間が終了したあとに見に来られる方もいらっしゃいました。来年度は掲示期間を長く設定することでより多くの方に見ていただくようにしたいと思います。</p>

講座名	おはなしのへや
該当する 重点事業の 項目	<p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供</p> <p>② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充</p>
趣旨	<p>以前から東部公民館で活動している「東部公民館おはなしのへや」は、もともと読み聞かせボランティア養成講座を受講したことでスタートしたボランティアグループです。現在では公民館が年間のスケジュールを提案して活動日程を定め、その日程に沿ってボランティアグループが自分たちで活動を行うというところまで自立しておられます。</p>
重点事業の 各項目との 関わりにお ける事業の 実際	<p>ボランティア養成講座をする際に重要なのは、活躍する場であると考えています。せっかくできるようになったのにそれを発揮する場所がないと、成功体験にもつながらず、続けようというモチベーションが生まれにくいのではないかと考えます。この事業は成功している一例としてレポートするものです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業のその 他の情報	<p>【講師】 東部公民館おはなしのへや 【参加費】 無料</p> <p>【日程】 毎月第1火曜日 10時半～11時 (0歳児対象)、</p> <p> 第2火曜日 10時半～11時 (1・2歳児対象)、</p> <p> 第3土曜日 14時～15時 (3歳～小学生対象)</p> <p>※その他にも大人向けの読み聞かせ講座を夜間に年2回実施</p>
成果と 課題	<p>幼児対象の講座の際には、児童館の「体重測定」の日に合わせて設定しています。そのため親子連れでたくさんの参加者が来るため、ボランティアグループもうれしい悲鳴を上げています。また、小学生や幼稚園・保育園に通っている子どもたちが参加できるように土曜日を設定するなど対象者に応じた工夫を行っています。しっかりと動き出しているグループなので、自立して活動できるように、月に1回話し合いができる場所も提供しており、余裕を持った運営をされています。</p> <p>公民館内での活動は充実していますが、他の場所へのご紹介がうまくできていないと感じます。今後別のボランティアグループを養成し自立させていくためには、もっと多くの活動場所をグループの求めに応じて紹介できるようにならなければと考えています。</p>

講座名	花園いきいき健康サロン
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充
趣旨	公民館での学びを生かす活動の拡充。自主講座で熱心に学ぶ人たちのアウトプットを保障することで、一人一人の生きがいを見出す支援につなげます。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	自主講座で学んだことを地域に生かすことができる環境をつくることのできるよう心掛けています。 さわやかハーモニカは介護施設や病院、地域公民館での行事での発表を度々行っている自主講座の団体で、10人程度が主に活動しています。 演奏と合唱の練習に精力的に励み、地域での発表を楽しんで精力的に取り組んでいます。ハーモニカ合奏、独奏、参加者とともに合唱。 8曲、30分程度の演奏を行っています。
事業のその他の情報	【対象】 地区に住んでいるどなたでも 【日時】 6月19日(水)、7月10日(水)、7月24日(水)、8月13日(火)、10月20日(日) 【場所】 花園小校区内の複数の地域公民館 【費用】 なし(ボランティアでの実施のため)
成果と課題	いきいきと活動する様子に、やはり目標があることで活動が充実していることが窺えました。 他の自主講座にも、発表やボランティアの機会を紹介したり、運営がスムーズにいくよう助言したりすることで、地域とのつながりをあちこちで作ることができるよう啓発していきたいと思えます。  

講座名	自主講座館外交流学习「白藤苑」・南区ふれあいフェスティバル
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充
趣旨	公民館での学びを生かす活動を拡充していくためには、学んだことを別の場所で披露したり、イベントに出演したりする場と時間の設定が必要です。南部公民館で学ぶ自主講座の皆さんは、今年は地域の1施設を訪問、そして例年どおり南区ふれあいフェスティバルにてステージ発表を行いました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>南部公民館では 2 施設を訪問して交流学习と位置付けて、演奏活動やステージ発表を行っています。本年度は、施設の都合により1施設のみということになりました。(6 講座参加)</p> <p>南区ふれあいフェスティバルは、南区の 6 公民館のステージ発表会であり、南部公民館の自主講座の方にとっては照明も音響も専門スタッフによるものであり、すばらしく晴れの舞台といった発表機会です。(5 講座)</p> <p>◆ 館外交流「白藤苑」 ◇ 南区ふれあいフェスティバル</p> 
事業のその他の情報	<p>◆ 介護老人保健施設「白藤苑」における館外交流 【日時】10月10日(木) 午後1時半～午後2時半</p> <p>◇ 南区ふれあいフェスティバル 【日時】10月19日(土) 午前10時～午後3時</p>
成果と課題	<p>出演予定講座の皆さんから、「披露するステージを楽しみにしながら意識を高めつつがんばれました。」「家族も応援に来てくれて気持ちよかった。」などの感想が寄せられました。また、各講座の先生も「講座生に皆さんのやる気があふれるもとなっています。きっと来年度も希望されると思います」との報告がありました。</p> <p>ステージ発表に特化している部分が強いので、いろんな講座が学習の成果や学びの広がりをサポートできるように今後努力していきたいです。</p>

講座名	小学校習字学習への書道講座生派遣
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充
趣旨	飽田公民館で学習されている書道講座生のみなさんを、日ごろの学習の成果を生かす場として、飽田地域3小学校の書初め学習に指導補助として入っていただくようお願いしました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	学習成果を生かす環境づくりとして、飽田地区3小学校の生涯学習コーディネーター担当の先生へ、書初め指導の時間に公民館書道講座の皆さんをお手伝い(指導補助)として派遣することを提案しました。 各小学校より1月中に3年・5年・6年の書初め学習への指導補助依頼を受け、講座生の皆さんに各校へ分かれて入っていただき、道具の扱い方や筆使い等についての声掛けや、止め・はね・はらいの指導をお願いしました。
事業のその他の情報	【対象】小学3年生・5年生・6年生 【日時】令和2年1月8日(水)・10日(金)・28日(火) 各校2時間程度 【講師】飽田公民館自主講座 書道講座生 他 【費用】無料
成果と課題	いつも指導されている先生に加えて、書道講座生の皆さんが教室に入られることにより、子どもたちの意識が「書く」方に向き、集中して取り組んでいました。また、今年から初めて学習している3年生では、基本的な姿勢や筆の持ち方のアドバイスがあり、その後にはしっかりとした姿勢になっていました。上学年では、止め・はね・はらいの書き方について、意識が高まったようでした。 ボランティアでの指導補助をお願いしましたが、謝礼となるものがなく、申し訳ないように感じました。公民館書道講座の皆さんには、学びを生かす機会と捉えていただきました。
	

講座名	公民館講座体験
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ② 公民館、学校、地域等での学びを生かす活動の拡充
趣旨	小学校に講座の講師と受講生が赴き、講座で学習していることを子どもたちに体験してもらい、公民館での活動や学習内容を知ってもらう機会にしました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	講師や講座生は子どもたちが達成できる目標や内容を計画し、子どもたちに講座体験をしてもらいました。子どもたちは、今回学習したことや作品を学校の学習発表会で、見に来られた保護者や地域の方々に広めました。発表会には、講座を教えた先生方にも招待状が届き、見に行かれて喜んでおられました。 
事業のその他の情報	小学校からリクエストがあった内容の講座にお願いして、2時間の講座体験を行いました。4講座の講師と受講生が講座体験を指導しました。
成果と課題	普段、自分が学習していることでも、小学生に教えるとなると勝手が変わるようです。子どもが達成できるよう、また教え方も分かりやすいようにずいぶん準備し、皆さんで協力して講座体験を行っていただきました。普段の活動を見直す機会になったのはもちろん、子どもと触れ合い、仲良くなることで互いにいい刺激となっていたようでした。 今回はラケットのような道具、絵手紙の紙などの専門の道具の準備がいる講座は、連絡や準備の負担が大きくなることもあり、大変な時もありました。

講座名	夏休み短期子ども料理教室
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
趣旨	共働き世帯の増加などを背景に、子ども達の食生活の乱れが言われるようになって久しい。学習グループ「くまもと食育ひろば」の市民企画講座として、子ども達に食育についての知識を伝え、自分で料理ができる技能を身に付けるとともに、食を通じた家族のコミュニケーションを豊かにする目的で、本講座を開催しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>「くまもと食育ひろば」は、食育について本公民館で学習していた団体ですが、会の趣旨に賛同し、一昨年度より月1回の市民企画講座の講師をお願いしています。今回は、「くまもと食育ひろば」からの新たな市民企画講座として、子ども向けに食育の講座を開きたいという提案があり、団体の活動を講座開催を通して支援するとともに、現代的課題の解決につながるということで開催しました。</p> <p>3日間の講座日程それぞれに三色食品群の学習を設定し、講義やワークシートを用いた学習で食育についての知識を深めました。調理実習では、安全面の確保とより細やかな調理実技の支援のために、調理台ごとに講師が付いて(子ども2人に講師1人)指導を行いました。また、家族の分も作って持ち帰ってもらい、家族に食べてもらってコメントをもらってくるという宿題もあり、食を通じた家族のコミュニケーションが生まれるようにしました。</p>
事業のその他の情報	<p>【対象】 小学生3年生以上～中学生まで (参加者 10人)</p> <p>【日時】 8月4日(日)・21日(水)・25日(日) 午前10時～正午 <全3回></p> <p>【講師】 「くまもと食育ひろば」のみなさん 【費用】 各回1000円(材料代)</p>
成果と課題	<p>アンケートの回答より、調理の楽しさを感じていた子どもが多かったことが分かりました。その理由として、家族に食べてもらって「おいしい。」と言ってもらえたこと、先生が2人に1人付いていたことを挙げていた子どももいました。また、講座で学んだ玉子焼きを家で再びやってみた子どもが多くいました。これらのことから、趣旨に沿った講座が実現できていたと評価できます。</p> <p>一方で、知識面が勉強になったとの記述は1人にとどまりました。やはり実技の面に意識が向きがちなので、知識面の学びも達成するためには講座の更なる工夫が必要と考えられます。「くまもと食育ひろば」の皆さんからも、「短期の講座では成果が十分でない。定期的に継続して開催したい。」との希望が出されています。講座開催を通してよりよい講座について考えることは、学習グループの活動の質の高まりにもつながると考えています。より質の高い講座ができるように、「くまもと食育ひろば」の皆さんとも次年度に向けて協議していく予定です。</p>

講座名	「河内町ホタルの会」の活動に関する支援
該当する 重点事業 の項目	<p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援</p>
趣旨	<p>「河内町ホタルの会」は当時汚染が進んでいた河内川をホタルがきれいな住む川にしたいと20年近く前に結成された地域のボランティアグループです。川だけでなく、地域の環境をより良いものにしたいと様々な活動をされていますので、「おでかけ公民館講座」で河内公民館もお手伝いしています。</p>
重点事業 の各項目 との関わり における事業の 実際	<p>①「ホタル祭り」への講師派遣、ステージ発表をする保育園や小学校との調整、準備（ポスター・プログラム作成等）、当日の進行の補助</p> <p>②「河内川の水生物調べ」での講師派遣と準備（講師・小学校との調整、道具の準備等）、当日の進行の補助</p> <p>③「海辺の生き物観察」での講師派遣と準備（講師・小学校との調整等）、当日の進行の補助</p>
事業のそ の他の情 報	<p>①「ホタル祭り」6月1日（土）18時～ 河内川にホタルが戻ったことを祝い、地域の子どもの発表やくまモンのステージ、地域の方々が作っただご汁を振る舞う。</p> <p>②7月16日（火）13時半～ 河内小4年生と芳野小5年生が河内川に入って、水生物を採り、調べる。最後に、ホタルの会の指導の下、自分たちで作った「EM団子」を川へ投入する。</p> <p>③10月29日（火）13時半～ 河内小5年生と芳野小5年生が地域の干潟に行き、そこに住んでいる生き物を採り、観察する。最後にEM団子を投入する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
成果と 課題	<p>これらの事業は10年以上続いています。最初の頃から公民館もお手伝いをさせていただいているようです。お祭りも1,000人を超える地域の一大イベントに育ち、川と海の活動は、子どもたちにとってなくてはならない学習になっています。地域の素晴らしい活動を公民館が支援できたことは大変喜ばしいことだと思います。</p> <p>「河内町ホタルの会」は今年で解散になりました。「ホタル祭り」は地域の自治会へ、二つの活動は河内まちづくりセンターが主になって来年度から進めていく予定です。継続していくことができるよう、公民館としてもどのような協力ができるのか、話し合い、考えていかなければならないと思います。</p>

講座名	笑いヨガ in 古閑サロン
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
趣旨	地域では、それぞれの地区がそれぞれの持ち味を生かした学習組織を作っておられます。富合校区の古閑地区では、高齢者を中心にサロン（学び続けるグループ）を形成し、自主的に活動されています。そこで、公民館からそのお手伝いとして、講師を派遣し活動とコミュニティ形成の充実を図るため、今回の講座を企画しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	今回の事業は、古閑サロンでの活動支援ということで、笑いヨガの講師を派遣しました。笑いヨガは、一人で静かに行うヨガと違い、笑うことを中心に据え、複数人とコミュニケーションを交わしながら行っていきます。1時間半、笑いと笑顔が絶えませんでした。 古閑サロンは、毎月1回の活動を行っています。今回は、サロンの方からの依頼を受け講師を派遣しました。
	
事業のその他の情報	【対象】 古閑サロンと古閑地区の方 【日時】 8月16日（金） 午前10時～正午 【講師】 井上洋子さん 【費用】 無料
成果と課題	古閑サロンでは、主に高齢者の居場所づくりとして、月1回集まり活動されています。今回は、心豊かに笑いながらコミュニケーションをとる笑いヨガを取り入れましたが、皆さんが楽しく活動されている姿を見ることができ、グループの活動支援ができたように思います。 今回は、自立が十分できているグループであり、依頼を受けて行った講座でした。今後は、学習グループを探し、こちらから提案し支援できる形をとっていく必要があると考えています。

講座名	人が元気！まちが元気！城南健康塾
該当する重点事業の項目	<p>(1) 学習機会（公民館講座）の充実 ① 関係課や関係機関（NPO等）と連携した講座の実施</p> <p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援</p>
趣旨	<p>自立して生活できる期間を伸ばしていくための意識の涵養と知識習得及び「地域ささえあい精神をはぐくむために開催します。</p>
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>地域や団体、行政等と連携して「健康生活基盤づくり」を行う NPO 法人健康生活応援くまもとプロジェクトと地域の高齢者支援等を行うささえりあ城南と連携を図ること、団体の支援及び健康づくりをとおした「健康のまちづくり」の支援を行います。</p> <p>NPO の事業と実施予定だった公民館主催「城南健康づくり教室（仮）」の目的及び内容が一致したため、お互いのノウハウ等を生かしながら実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
事業のその他の情報	<p>【対象】 約 30 人予定</p> <p>【日時】 令和 2 年 1 月 26 日～3 月 22 日（毎週日曜日）午前 10 時～11 時半</p> <p>【講師】 第 1 回 中島留美さん（自分の健康）</p> <p>第 2 回 秋月隆宏さん（介護予防）</p> <p>第 3 回 川畑智さん（認知症予防）</p> <p>第 4 回 荒木晴美さん（椅子ヨガ）</p> <p>第 5 回 持田成子さん（健康料理）</p> <p>第 6 回 土井和子さん（傾聴）</p> <p>第 7 回 松崎昇さん（論語）</p> <p>第 8 回 浦本九州男さん（詐欺対策）</p> <p>第 9 回 中原孝さん（口腔ケア）</p> <p>【費用】 参加費 資料代 100 円（別途料理材料費）</p>
成果と課題	<p>健康づくりについてはもちろん、地域の高齢者において今後の生活に役立つ内容で、さまざまな面から「健康」を考える機会となりました。参加者からも「ぜひ実践したい」「お友達にも伝えたい」などの感想をいただきました。またささえりあとの連携により、さらに地域とのつながりを意識して取り組みができ、高齢者支援とともに健康のまちづくり、「地域ささえあい精神」をはぐくむことができました。</p> <p>地域に根ざした講座にするための広報について、ささえりあに頼ってしまったところがあったので、広報を工夫してさらに多くの地域の方に参加していただくことが必要だと感じています。</p>

講座名	教養講演会「音楽の力 ボランティアの力」
該当する重点事業の項目	(2) 学習成果を生かす環境づくり ③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援
趣旨	様々なボランティアの活動を行うことが、他の人に役立つのだけではなく、ひいては自分自身の力を高めることにつながっていった体験談をもとにした講演会を通して、ボランティア意識の醸成を目指して開催しました。
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>ボランティアに参加する人にはそれぞれの動機があり、またその意義については、実際にボランティアに参加することによって、見えてくるものがあります。自分が参加したボランティアが、どのような効果をあげたのかどうかを見るのではなく、ボランティアに参加しようとする気持ち、「やってみたい」という気持ちこそが大事です。自分の好きなことや得意なことを生かして一步を踏み出せば、きっと周りの人を巻き込んで、大きな輪になって広がっていきます。</p> 
事業のその他の情報	【対象】どなたでも (参加者 146人) 【費用】無料 【日時】7月21日(日)午前10時～正午 【講師】酒井昭治さん(自主講座講師)
成果と課題	<p>参加した人の多くは、「ボランティアにはどんな種類があるのだろうか」「自分にはボランティアができるだろうか」など、漠然としたイメージをもちやすいです。しかし、今回の講演を聞いて、ボランティアには様々な種類があり、決して「苦手」に感じることを必ずしも行わなくてはならないのではなく、自分の得意分野を生かすことも大切であると感じました。そのようなスタンスでボランティアを考えることで、他の人を元気づけるだけではなく、「自分自身も元気」になることを知ることができました。</p> <p>酒井先生は、ご自身も大好きな「音楽」(蓄音機やレコード音源)を、多くの人に聴いてもらうことで、聴いた人も楽しくなること、また自分自身も楽しさを感じることを、実演を交えて伝えられました。</p> <p>「ボランティアを始めてみたい」と思う人は、まず自分の好きなこと、自分の得意分野は何だろうと、自分を見つめることから始めてみては、というメッセージを感じました。</p> <p>先生の経験談や音楽の実演は、参加者にとって具体的に参考になったと思います。しかし、今後、実際にボランティア活動に参加してみたい、と思う人にとっては、一步を踏み出せる詳しい情報も必要です。公民館としてそのような地域のボランティア情報も発信していかなければならないと思いました。</p>

講座名	ほくぶキッズ遊学塾																					
該当する重点事業の項目	<p>(2) 学習成果を生かす環境づくり</p> <p>① ボランティアや地域人材等の養成講座の実施及び活動機会の情報提供</p> <p>③ 地域の学習グループやボランティア団体の活動支援及び地域コミュニティ形成の支援</p>																					
趣旨	<p>「ほくぶキッズ遊学塾」は、異年齢集団の中で様々な“遊び”と“学び”を体験する小学生を対象にした主催講座で、約 20 年間にわたって活動が続いています。北部地域で活躍する「北部高校生ボランティアサークル・わいわいHVC」の協力をいただきながら、今年度は、38 人が入塾して活動しています。</p>																					
重点事業の各項目との関わりにおける事業の実際	<p>わいわいHVCは、中学生から社会人まで 20~30 人の方が常時、地域の各種団体と連携しながらボランティア活動を行い、まちづくり・人づくり・地域活性の活動に貢献しています。本事業にかかわるスタッフのほとんども「ほくぶキッズ遊学塾」のOB・OGで、参加している小学生の中からも、将来は地域づくりに貢献する人材が誕生すると思われます。</p>																					
事業のその他の情報	<p>【対象】 小学生 (参加者 38 人)</p> <p>【日時】 令和元年 5 月~令和 2 年 2 月 (全 10 回)</p> <p>【内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>5 月 12 日 (日) 10 時~12 時</td> <td>「開講式・年間計画の話し合い」</td> </tr> <tr> <td>6 月 23 日 (日) 10 時~12 時</td> <td>「作って遊ぼう」(工作・ミニゲーム)</td> </tr> <tr> <td>8 月 4 日 (日) 10 時~12 時</td> <td>「お椀・箸づくり&そうめん流し」</td> </tr> <tr> <td>8 月 18 日 (日) 13 時~15 時</td> <td>「カヌー体験」</td> </tr> <tr> <td>9 月 22 日 (日) 10 時~12 時</td> <td>「みんなで考えよう!防災について」</td> </tr> <tr> <td>11 月 3 日 (日) ~4 (月・祝)</td> <td>「ASOで遊ぼうキャンプ」</td> </tr> <tr> <td>11 月 23 日 (土) 9 時~14 時</td> <td>「北部東まちづくりウォークラリー」</td> </tr> <tr> <td>12 月 21 日 (土) 13 時~16 時</td> <td>「北部ふれあいクリスマス交流会」</td> </tr> <tr> <td>1 月 11 日 (土) 10 時~12 時</td> <td>「世界に一つだけの陶芸」</td> </tr> <tr> <td>2 月 9 日 (日) 10 時~14 時</td> <td>「クッキングパーティ・閉講式」</td> </tr> </table> <p>【講師】 ◇講師① (コーディネーター) 「北部高校生ボランティアサークル・わいわいHVC」 ◇講師② (活動内容に応じて講師を選定)</p> <p>【費用】 無料 (※活動に応じて、材料費等を徴収することもあり)</p>		5 月 12 日 (日) 10 時~12 時	「開講式・年間計画の話し合い」	6 月 23 日 (日) 10 時~12 時	「作って遊ぼう」(工作・ミニゲーム)	8 月 4 日 (日) 10 時~12 時	「お椀・箸づくり&そうめん流し」	8 月 18 日 (日) 13 時~15 時	「カヌー体験」	9 月 22 日 (日) 10 時~12 時	「みんなで考えよう!防災について」	11 月 3 日 (日) ~4 (月・祝)	「ASOで遊ぼうキャンプ」	11 月 23 日 (土) 9 時~14 時	「北部東まちづくりウォークラリー」	12 月 21 日 (土) 13 時~16 時	「北部ふれあいクリスマス交流会」	1 月 11 日 (土) 10 時~12 時	「世界に一つだけの陶芸」	2 月 9 日 (日) 10 時~14 時	「クッキングパーティ・閉講式」
5 月 12 日 (日) 10 時~12 時	「開講式・年間計画の話し合い」																					
6 月 23 日 (日) 10 時~12 時	「作って遊ぼう」(工作・ミニゲーム)																					
8 月 4 日 (日) 10 時~12 時	「お椀・箸づくり&そうめん流し」																					
8 月 18 日 (日) 13 時~15 時	「カヌー体験」																					
9 月 22 日 (日) 10 時~12 時	「みんなで考えよう!防災について」																					
11 月 3 日 (日) ~4 (月・祝)	「ASOで遊ぼうキャンプ」																					
11 月 23 日 (土) 9 時~14 時	「北部東まちづくりウォークラリー」																					
12 月 21 日 (土) 13 時~16 時	「北部ふれあいクリスマス交流会」																					
1 月 11 日 (土) 10 時~12 時	「世界に一つだけの陶芸」																					
2 月 9 日 (日) 10 時~14 時	「クッキングパーティ・閉講式」																					
成果と課題	<p>今後も事業を継続させていくにあたって、公民館の予算面や人的なかかわりの面で、かなり抜本的な改善・工夫を行っていく必要があります。また、活動中の健康・安全面の確保に苦慮することが多いです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																					

令和元年度（2019年度）重点事業

（3）家庭教育支援の充実

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <中央公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月 7日（金） 6月12日（水） 7月15日（月）
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間 期 間	午前10時～正午
場 所	壺川小学校PTA 会議室 城東小学校和室 中央公民館
内 容	中央公民館は、碩台幼稚園、黒髪小学校、壺川小学校、城東小学校で開設している。開級式は壺川小学校、城東小学校それぞれに実施され開設校の校長先生からの話と開級式のため自己紹介でなく他己紹介でコミュニケーション能力の育て方や食育の大切さ等親学について話し合われた。黒髪小と碩台幼稚園は7月に合同で公民館で親子で楽しむイタリアン（ピザ作り）を企画し実施された。
成果○ 課題△	○運営については、家庭教育学級生が中心であるが、公民館としてもできる限り支援することで参加者を増やすことに心掛けして取り組むことができた。また、親子でのものづくり体験、自然体験など様々な企画を行い、学級生が楽しみながら学べる機会を提供できればと考えている。 △6月に家庭教育学級開設の説明と開設申請を各学校に出向いてお願いしたが、学校次第で家庭教育学級に対しての理解にかなりの温度差があるように感じた。
写 真	
 	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <大江公民館>

期 日	令和元年（2019年）10月23日（水）
取組の 重 点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて（6 環境問題・7 郷土）
時 間 期 間	午前10時～正午
場 所	上江津湖周辺
内 容	<p>「ノルディックウォーキングのすすめ」（合同館外学習） 他の学級生との親睦を図ることと同時に単一学級では実施に至りにくい「環境に関する学習」及び「郷土に関する学習」の領域を補えるような講座を企画した。 ウォーキングの前に江津湖サービスセンターの坂部所長の話聞き、身近な環境について学ぶ機会や郷土の魅力を再確認する時間を設けた。 ノルディックウォーキングでは、江津湖の遊歩道を歩くということだけでなく、運動靴の履き方や親子でできるストレッチ方法の指導もあった。</p>
成果○ 課題△	<p>○アンケート結果から、ノルディックウォーキング体験は初めての学級生がほとんどで、今後もやってみたいという声が大半であった。 ○江津湖は市民に支えられた美しい環境が認められ、都市公園コンクールで国土交通大臣賞を受賞したという話を聞き、学級生の環境美化の意識も高まったようであった。 △とても好評であったため公民館側からの継続した取組（シリーズ化）にするか、各学級に返して継続してもらうかを検討する必要がある。</p>
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <五福公民館>

期 日	令和元年（2019年）8月24日（土）
取組の 重 点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて（4 親子のふれあい活動）
時 間 期 間	午前10時～正午
場 所	五福公民館 4F 第1・第2会議室
内 容	<p>「和み窯」窯元の馬場和子さんのご指導の下、子どもには、陶芸作品づくりの楽しさを味わわせるとともに創作活動への関心・意欲を高めるきっかけとすること。</p> <p>また、親子で作品づくりをすることにより、親子の触れ合い、望ましい関係づくりのきっかけづくりとなること等を主な目的として、小皿づくりを行いました。</p> <p>2時間の時間内に、絵や柄を竹串でかいたり、創意工夫しながら、親子で、それぞれ1枚ずつ、世界に1つしかない、素敵な小皿を作り上げていた。</p>
成果○ 課題△	<p>○陶芸作品づくりの楽しさを味わい、創作活動への関心・意欲を高めるきっかけとなった。</p> <p>また、親子で作品づくりをすることで親子の触れ合いや望ましい関係づくりのきっかけとなった。</p> <p>△早く終わった方への対応など、個人差への配慮が必要でした。</p>
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <東部公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月29日（金）
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間 期 間	午前10時～11時30分
場 所	東部公民館 2F ホール
内 容	<p>「家庭教育合同講演会」と題し、くまもと子どもの人権 テーブル副代表入江里美さんにご講演いただき、いじめと 子どもの人権についてお話をいただいた。</p> <p>こちらの講演会を行うに際し、家庭教育学級生への告知 はもちろんだが、管内3中学校（いずれも学級がない）に お願いをし、全生徒分のチラシの配布を行った。また、市 政だよりへの掲載をせず、管内のみのメディア（公民館だ より・館内チラシ）にとどめた。</p> <p>これらのことにより、家庭教育学級のない学校の保護者 へ対してのアピールにつなげる考えで行った。</p>
成果○ 課題△	<p>○参加者数は27人に対し、一般の参加者は2名（30 代・40代女性）であった。</p> <p>△実験的要素として管内のみのメディアおよび中学校配布 のチラシだけと絞ってみたが、家庭教育学級の拡充（中 学校における学級開設）に向けては、今後も学校との協力体 制を強固にしていく必要がある。（各校とも、とても協力的 ではあった）</p>

写 真



①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <託麻公民館>

期 日	①令和元年（2019年）5月14日（火）～6月11日（火） ②令和元年（2019年）12月 8日（日）
取組の 重 点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて（5人権）
時 間 期 間	① 各家庭教育学級開級式開催時刻 ② 午前10時～正午
場 所	①各家庭教育学級開級式会場 ②託麻公民館 ホール
内 容	①託麻公民館管内の家庭教育学級は、今年度8学級の開設となった（小学校5校、中学校3校）。それぞれで行われる家庭教育学級の開級式に全て参加し、年間計画立案にあたっては、7つの領域にバランスよく取り組まれるように開級式の中でお願いをした。 ②昨年度それぞれの家庭教育学級の中では取り組まれなかった「人権」について、人権をテーマにした教養講演会を家庭教育学級の合同講演会と兼ねた開催とすることで、7領域の完全実施の実現を図る。第2回家庭教育学級運営委員会（9月11日開催）でも、12月8日開催の講演会について公民館だより等での告知よりも先んじて情報提供し、参加を呼び掛ける。
成果○ 課題△	○開級式で7領域を意識した年間計画立案をお願いしたことで、領域にバランスよく取り組もうとする様子がそれぞれの家庭教育学級の実施内容からうかがえた。 △人権をテーマにした教養講演会を家庭教育学級の合同講演会として参加を呼び掛けたが、家庭教育学級からの参加は大変少なかった。家庭教育学級生に聞き取りなどもして課題を明らかにし、今後の取り組みにつなげたい。
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <秋津公民館>

期 日	平成31年度～令和元年度
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間	
場 所	秋津公民館、管内小中学校
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度まで管内の4小学校・2中学校の家庭教育学級は、各学級で年間計画を立て自主的に運営されていたが、平成29年度に公民館主導で合同開催されるようになった。保護者の運営の分担は減ったが、各学校での次年度への組織の引継ぎがなくなっていった。 ・平成30年度に、合同開級式（5月）をきっかけに、再度各学校での組織の構築を図り、2小学校（桜木小・若葉小）で立ち上げることができた。その後も、合同講演会、中学校のPTA役員会での説明、小学校PTA会長への相談など行ったが、一度なくなった組織を再度立ち上げるのは困難であった。 ・平成30年度後半、秋津小の読み聞かせボランティアの会と公民館講座の連携をきっかけとして、この会を母体として秋津小学校の家庭教育学級が再び立ち上がった。 ・令和元年度、桜木小学校の家庭教育学級に参加されている方で中学校の保護者でもあるか方が、中学校での必要性を感じてくださり、桜木中学校の家庭教育学級が立ち上がった。（今年度は桜木小・秋津小・桜木中の3校開設。昨年度開設した若葉小は継続できず。） ・合同講演会の開催や今年度再開した秋津小、桜木中の家庭教育学級の運営の支援に力を入れている。 ・11月に桜木東小の保護者を対象に、公民館からの提案講座を小学校で開催しその後組織作りを提案したが立ち上がるまでに至らなかったため、3月に再度行う。また、新入生説明会で家庭教の説明の時間をとっていただく。
成果○ 課題△	<p>○2小学校・1中学校の家庭教育学級の組織が再度立ち上がり、継続した活動につながっていること。</p> <p>△他の学校では、継続的に運営に携わってくださる方と連携できていないこと。</p>
写 真	
	
桜木小学校 「ICT体験・模擬授業」	秋津小学校 「博物館見学」

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <西部公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月9日（土）
取組の 重 点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて （4 親子のふれあい活動・6 環境問題）
時 間 期 間	午後2時～5時
場 所	中島小学校体育館
内 容	「親子でしめ縄作りプロジェクト」 最初にお正月の文化的な意味を説明していただき、しめ縄を飾ることの意味について理解を深めることができた。 しめ縄づくりはとても力が入る作業であり、自然と親子の触れ合いの場となる活動になっていた。講師は「一般社団法人国際教養振興協会」より1名を招聘。
成果○ 課題△	○日本古来の伝統文化に触れながら、環境問題についての意識も深めることができた。 △50名の参加があった。講座の内容も充実しており、今後も継続して取り組んでいきたい。
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <花園公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月16日（木）
取組の重点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践に向けて （1家庭のあり方・4親子のふれあい・5人権・6環境問題・7郷土）
時 間 期 間	午前10時～正午 令和元年（2019年）5月16日（木）～令和2年（2020年）3月4日（水）
場 所	主に花園公民館 BC会議室
内 容	第1回合同開級式・子どものやる気を引き出す整理収納術（5/16）領域1（1） 第2回親子ソーセージ作り（6/1）領域4（3） 第3回親子障がい者サポーター（6/23）領域5（2） 第4回親子カヌー体験（8/4）領域4（1） 第5回現代美術館「デザインあ見学」領域（8/22）領域6（1） 第6回親子オレンジリボンサポーター研修（9/29）領域5（1） ※第7回親子博物館見学（12/26）領域7（2） ※第8回合同閉級式（3/4）領域1（4） ※は実施予定
成果○ 課題△	○合同での開催を基本にして、各学校での講座の企画立案を講座生が主体的に取り組んだ。 ○学校を超えて保護者の交流が見られ、横のつながりが強化された。△家庭教育学級の目標が学級生の間でしっかりと共有されているとはいいがたい。 △参加する学級生が少なくはないが、学校の規模から考えると多いとは言えない。
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <河内公民館>

期 日	平成31年（2019年）4月12日（金）
取組の 重 点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へに向けて 1家庭のあり方・2子どもの心身の発達・3健康な生活・7郷土
時 間 期 間	午後7時～7時30分 平成31年（2019年）4月12日～ 令和2年（2020年）3月（期日未定）
場 所	河内公民館 大会議室C
内 容	第1回河内小家庭教育学級（4/12）午後8時半～9時 ①家庭教育学級について（意義・内容等） ②年間活動について 第2回（6/13）午後7時～7時半 演題「子どもたちの自尊感情について」（領域1-（1）） 講師：岸森和彦教頭先生 第3回河内小家庭教育学級（9/12）午後7時～7時半 演題「家庭でできる応急処置」（領域3-（5）） 講師：西消防署河内出張所職員 第4回（期日・講師未定）午前10時～正午 内容「子どもが好きな野菜たっぷり給食メニュー」（領域3-（3）） 第5回（期日・講師未定）午後2時頃～約1時間 内容「家庭教育講演会」（領域2） 第6回（期日未定）午後7時～7時半 内容「河内の歴史と地理」（領域7-（1）） 講師：稲津暢洋さん（埋蔵文化財調査室）
成果○ 課題△	○一昨年から河内小親師会（PTA）に協力依頼して、主に役員会の日に家庭教育学級を開かせていただいている。（会議前の30分間）第一回目に趣旨説明をした後、学習内容例を提示して、幅広い分野で学習をお願いしたいことを告げ、希望を出してもらい、昨年より1講座増やすことができた。 △計画や通知、当日の進行等、全て公民館で行っている。保護者の主体的な活動につなげることはできていないが、まずは「家庭教育学級」の活動を軌道にのせることを第一に進めている。
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <南部公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月28日（火） 令和元年（2019年）6月7日（金）
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践に向けて
時 間 期 間	午前10時～11時50分 午後3時50分～4時50分
場 所	南部公民館 A会議室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館は、1幼稚園、6小学校、3中学校がある。家庭教育学級の3校合同開級式において、開設校の校長先生（特に本年度中心校）より、未開設の園、小中学校へ働きかけますとの旨のお話をいただいた。また、担当社会教育指導員から未開設校へのアピールを継続していく趣旨の説明 ・生涯学習コーディネート研修会において各園・小中学校の担当者に対して、家庭教育学級開設への働きかけをプレゼンテーションとともにいった。
成果○ 課題△	<ul style="list-style-type: none"> ○合同開級式において、公民館サイドではなく開設校の校長先生から「家庭教育学級の開設を未開設校に働きかけていきます」との話をいただきありがたかった。次年度開設校が増えることを期待したい。 ○全園、小中学校の担当に向けて啓発できたこと △合同開級式という場合は、未開設の園や小中学校への啓発としては弱い。 △社教主事がことあるごとに訪問し、働きかけを継続することが必須である。
写 真	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <幸田公民館>

期 日	令和元年（2019年）8月8日（木）
取組の重点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて （4 親子のふれあい・6 環境問題）
時 間 期 間	午前10時～正午
場 所	熊本市環境センター
内 容	「牛乳パックで葉書き作り」 ①熊本市環境センターの設立の経緯や役割について、説明があった。 ②参加者は、牛乳パックを持ち込み、牛乳パックを水で溶かした材料を木の枠に均一に広げて、水分を抜き、アイロンの熱で温めると、手作り葉書きが完成し、慣れていくと何枚も作成していた。 ③アクセントに、押し花を入れるとオリジナルの葉書きが作成できた。
成果○ 課題△	○夏休みに開催したことで、参加者数が多かった。 ○親子で参加することで知識・体験の共有が出来、環境問題についての理解を深めることができた。 ○牛乳パックを再利用して、手作りの葉書きを作るという楽しさを実感し生き生きと活動する子どもたちの様子が見られた。 ○身近なことから、環境を大切にする取り組みが出来ることを実感できた。 △参加者が更に増えるような広報の在り方について考えていく必要がある。

写 真



①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <飽田公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月25日（火）
取組の重点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間 期	午後7時～午後9時 令和元年（2019年）6月25日～ 令和2年（2020年）3月上旬
場 所	飽田公民館
内 容	<p>・飽田公民館管内には、1中学校・3小学校の4校があり、各校に家庭教育学級が設置されている。年度始めのPTA総会時に案内の時間をいただき、家庭教育学級への参加勧誘を行っている。</p> <p>家庭教育学級第1回全体会・運営委員会（6月25日）</p> <p>①学級の運営について ②年間活動計画 ③合同開級式・講演会について ④その他</p> <p>第2回 合同研修会（11月2日）</p> <p>①防災講話と防災食調理実習 「熊本地震を振り返り」～備え・食について～</p> <p>第3回合同全体会・運営委員会（3月上旬）</p> <p>①年間の反省と志向 ②合同閉級式 ③感謝状の確認 ④年度末事務と提出書類（「あゆみ」原稿作成）その他</p>
成果○ 課題△	<p>○参加して楽しかった！参考になった！との声を多く聞くことができている。</p> <p>○親子活動での講座で、家ではできない活動ができてよかったとの感想をいただいた。</p> <p>△PTA総会時の勧誘やチラシでの誘いで参加者増を狙っているが、どの学校も少なくなっており、参加者増への効果的な周知や興味関心の高まる講座企画を考えたい。</p>
写 真	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <天明公民館>

期 日	平成31年（2019年）4月26日（金）
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間 期 間	午後6時～7時
場 所	天明公民館C会議室
内 容	家庭教育学級第1回運営委員会（年度始め） ①学級の運営について ②年間活動計画 ③合同開級式・講演会について ④その他 第2回（年度半ば） ①各学校の活動実績と今後の予定 ②第2回合同交流学习会について ③その他 第3回（年度末） ①年間の反省と志向 ②合同閉級式・講演会について ③感謝状の確認 ④年度末事務と提出書類（「あゆみ」原稿作成）その他
成果○ 課題△	○年度初めのPTA総会で各学校で担当者が決まるので、その後の運営がスムーズにいく。 ○合同での開級式・閉級式・講演会を行い各学校の管理職も出席していただき、参加者の意識も高まる。また、規模が小さな学校の保護者も活動が充実してくる。 △年度によっては、家庭の事情などで担当者の負担が大きい場合、そのサポートがうまくできないと、学校によってうまく活動がいかないことも多い。
写 真	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <富合公民館>

期 日	平成31年（2019年）4月19日（金）・・・① 4月20日（土）・・・②
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へに向けて
時 間 期 間	① 午後3時～ ② 午後2時～
場 所	① 富合小学校体育館 ② 富合中学校体育館
内 容	富合小・中学校のPTA総会にそれぞれ参加し、家庭教育学級の開設紹介（家庭教育学級の意義・内容等）をした。事前に資料をPTA総会資料に綴じこんでいただいていた。終盤の時間帯をいただいた。総会終了まで待機し、当日申込受付を行った。
成果○ 課題△	○総会参加者に、取組の様子を詳しく伝えることができた。即日受付を行い、数名の申し込みがあった。 △家庭教育学級の資料を、PTA総会の資料と一緒に綴じこんでいただいたが、総会に来ていない保護者は目にとめることなく破棄されることも多いかと思う。資料は、当日は、紹介のみにとどめ、翌日以降に配付する方が拡充効果があったのではないかと思う。
写 真	
な し	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <城南公民館>

期 日	㊦平成31年（2019年）4月25日（木） ㊧平成31年（2019年）4月16日（木）～ 令和元年（2019年）5月10日（金）
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へに向けて
時 間 期 間	㊦午前9時30分～ ㊧各校・園のPTA総会の時間帯（午後）
場 所	㊦杉上小学校 校長室 ㊧各校・園の体育館等
内 容	㊦旧城南町の小・中・幼の校長園長会で、毎年3月と4月に公民館事業について協力・連携要請をしている。家庭教育学級への理解と開設代表者としての積極的な協力をお願いした。 ㊧各PTA総会にて時間をいただき、家庭教育学級の説明（目的や魅力、前年度の活動など）をおこなった。
成果○ 課題△	㊦○各学校での理解が進み、協力・連携（教職員が講師を務める、学習会へ教職員が参加するなど）ができつつある。 ㊧○家庭教育学級の知名度があがった。 △説明時間が短いこともあり、家庭教育学級がどのようなものかがきちんと伝わっていないので、参加者が少ない。
写 真	
な し	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <龍田公民館>

期 日	令和元年（2019年）10月30日（水）
取組の重点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて（5 人権・7 郷土）
時 間 期 間	午前10時～正午
場 所	龍田公民館 A会議室
内 容	<p>各学級の年間の活動計画をたてるために、合同運営委員会を開催した。その中で、7領域の実践を確かなものにしていくためにはどうしたらよいか考え、人権についての学習は、各学級合わせての合同講演会で実施することに決定した。</p> <p>学習するテーマについても各学級から希望をつのった。様々な意見が出されたが、「LGBTについての知識を深めたい」との意見がだされ、LGBTに対する正しい理解を深める講演会を実施することとなった。</p> <p>また、「郷土」の分野では、「郷土料理」に焦点をあて、郷土の理解を深めるため、熊本の郷土料理を試作することになった。試食の時は校長先生をお呼びして、評価をしていただく予定である。</p>
成果○ 課題△	<p>○各家庭学級で講師を見つけることが難しい分野に関しては、合同で講師の情報を交換し合うことで、よりよい講師を見つけやすくなる。</p> <p>△各学級生が「難しい分野は、合同で実施したい」という気持ちに傾いてしまいやすい。</p>

写 真



①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <清水公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月17日（金）
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間 期 間	午前9時～正午
場 所	清水公民館 第3研修室 ホール
内 容	<p>家庭教育学級開級式の前に、全学校の学級生に集まってもらった。家庭教育学級としての意義、昨年の活動内容、講師依頼の仕方などを説明し、共通理解と他校の家庭教育学級生との情報交換や話し合いができる場を設定した。</p> <p>またその後の開級式には、各学校の学校長や地域の方にもご出席願ひ、家庭教育学級の存在や活動を知っていただいた後に、講演会を行った。</p> <p>ご息女を事件で亡くされたことでの思いを語っていただき、子どもに対する危機意識を高めたり、今生きていることへの感謝の気持ちを再確認したりすることができた。</p>
成果○ 課題△	<p>○全家庭教育学級が集まって開級式を行うことで、他校の状況を知ったり、交流ができた。</p> <p>○講演会で各学校長や地域の方にも参加してもらうことで家庭教育学級の紹介をすることができた。</p> <p>△家庭教育学級がない学校には、これらの活動が伝わりにくい。</p>
写 真	
	

①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <北部公民館>

期 日	令和元年（2019年）7月11日（木）
取組の 重 点	<input type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて（1家庭のあり方）
時 間	午前10時～正午
場 所	熊本市北消防署
内 容	<p>◇今回の学習では、7領域の中から「①家庭の在り方」に視点をあて、「家庭における防災」・「災害時の自助及び共助」・「地域の消防署の役割と家庭との連携」という3つの学習事項に絞り込んだ。</p> <p>◇今年度から導入した「セレクト学習」の一環として位置付けた。</p> <p>◇消防署の担当者からのプレゼンテーション、学級生の体験や見学・質疑応答などを行った。</p>
成果○ 課題△	<p>○「セレクト学習」の意義・目的が理解されつつあり、今後の学習の見通しができた</p> <p>○身近な防災の拠点施設としての消防署を再認識することができた。</p> <p>△学校の学期末の行事等と重なり、参加者数を増やすことができなかった。</p>

写 真



①家庭教育学級の拡充等に向けた幼稚園、小・中学校との連携促進
 <植木公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月中旬、10月中旬
取組の 重 点	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育学級拡充に向けて <input type="checkbox"/> 7領域の実践へ向けて
時 間 期 間	令和元年（2019年）6月中旬、10月中旬
場 所	植木公民館管内の各小中学校
内 容	6月中旬 植木公民館管内の8つの小学校をまわり、家庭教育支援のために行う講座や講演会に、保護者が積極的に参加してもらえるよう、校長及びPTA会長に協力要請を行った。 10月中旬 植木公民館管内の3つの中学校に、家庭教育支援のために行う講演会に、保護者が積極的に参加してもらえるように、校長及びPTA会長に協力要請を行った。
成果○ 課題△	○家庭教育支援のために行う講座への参加が増えた。 △講演会への参加については、参加者名簿をいくつかの学校から出してもらえたが、参加者数は少ないのが現状である。
写 真	
な し	

②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <中央公民館>

期 日	令和元年（2019年）8月11日（日）
時 間	午前10時～11時30分
場 所	中央公民館
講 師	田中 慎一郎さん （教育委員会総合支援課指導主事）
演 題	スマホの向こう側 ～家庭での情報モラル教育の進め方～
内 容	SNS等の急激な普及による小中学生に起こりやすいトラブルをパワーポイントを使って事例を紹介。また、トラブルを回避するためのポイントや、万一トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法を学ぶ。
成果○ 課題△	○インターネット利用に絡んで3つのリスクがあることを紹介された。いじめ問題等の身近な課題やデータ・実験から分かったことを例示しながらどうしたら防げるか親子で話し合っ家庭内のルールの糸口が見いだせる内容だった。 △日程の調整が必要だった。講師の日程に合わせて開催したので、学校の他の行事と重なり参加者が少なかった。もっと多くの親子に聞いてもらいたかった内容だった。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <大江公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月 21日（木）
時 間	午前10時～正午
場 所	大江公民館 大ホール
講 師	倉渕 栄生さん （ヒューマン・コネクト・マネジメント合名会社）
演 題	メンタルコーチが贈る子育てハッピーライフへの道案内 ～「意識するものを変える」とこんなに変わる～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、子育てをしながら感じている自分や子どもに対するイライラや嫌悪感など、ネガティブな感情にどう向き合うか。 ・子どもに接するときに上手にやりとりができる意識する具体的なコミュニケーションやアプローチの方法 ・セルフコントロールの取り入れ方や効果的な実践方法
成果○ 課題△	<p>○時間に追われる毎日で、なかなか自分の感情と向き合う時間がなかったが、就寝前に少しでも意識して振り返ってみたいという感想が出た。</p> <p>○講演中に隣の人と話す機会を設定されて、思いや考えをシェアすることで考えを深めることができていた。</p> <p>△子育て初心者向けの内容であったので物足りなさを感じたという感想も見られた。</p>

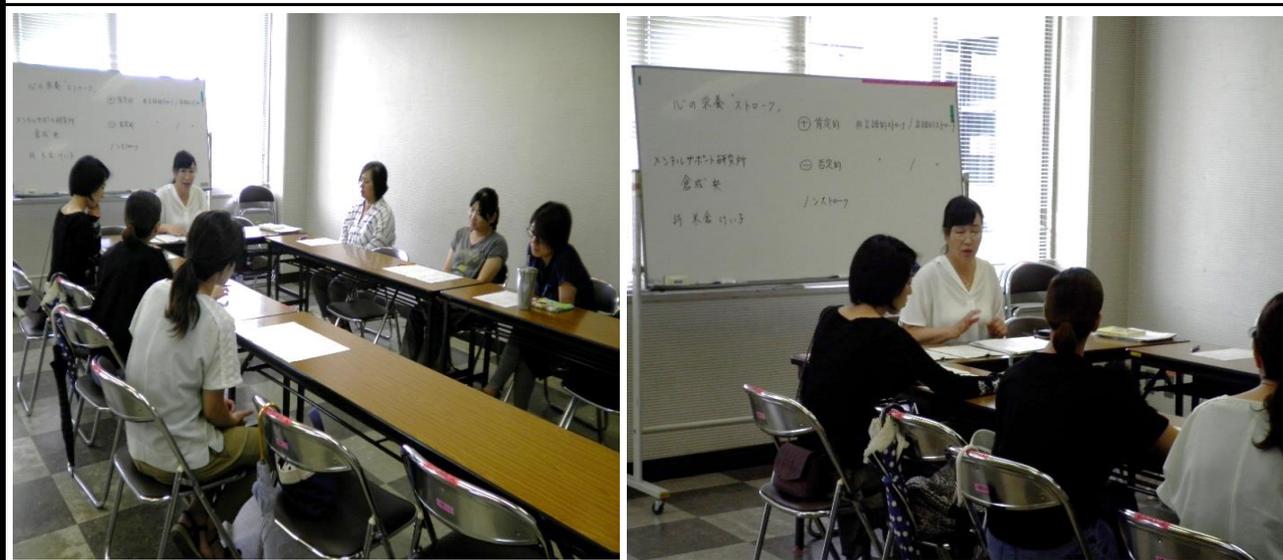
写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <五福公民館>

期 日	令和元年（2019年）7月9日（火）
時 間	午前10時～正午
場 所	五福公民館 4階 第3会議室 A
講 師	佐々 朗子 さん (株式会社メンタルサポート研究所)
演 題	心の栄養「ストローク」って何？
内 容	心理的な「ストローク」(言語・非言語全て含めて「存在を認める行為」)は、心の栄養と言われ、すべての人との関わりにおいて重要な「ストローク」を自分の子どもとの関わりの中で、月齢に応じての有効な「ストローク」と親自身の心が豊かになる「ストローク」の受け取り方についてお話を伺った。
成果○ 課題△	○講演会というより、少人数の座談会のような感じで何でも話せる雰囲気、ざっくばらんにいろいろな話ができただけ。 △参加者が少なかった。話の内容がとても良かっただけに、子育て真っ最中の多くの親に聞いていただきたい。多くの方に参加していただけるようにも広報の仕方等、今後工夫していきたい。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <東部公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月29日（金）
時 間	午前10時～11時半
場 所	東部公民館 ホール
講 師	入江 里美さん （くまもと子どもの人権テーブル副代表）
演 題	「ひとつのいじめは、みんなの危険信号」
内 容	子どもの権利条約・子どもの人権をもとに、いじめ問題についての現状を知り、親として当事者にできること、学校との連携などについて実例を挙げながら説明があった。
成果○ 課題△	○講演会の最後に質疑応答の時間をとったが、現在進行形で困っている方の相談や、あの時どうすればよかったのかなど、具体例をもとに参加者で意識を共有することができた。 △内容が深刻なものもあったので、参加者全体への配慮を考えておくべきであった。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <託麻公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月18日（火）
時 間	午後2時～午後4時
場 所	託麻公民館 ホール
講 師	田中 慎一郎 さん （熊本市教育委員会 総合支援課指導主事）
演 題	子どもたちのインターネット事情と大人がすべきこと ～子どものための情報モラル教育の進め方～
内 容	○スマホの4つのリスク（犯罪、人間関係、情報公開、依存） ○見えにくくなっている子ども達の悩み ○早めに相談させることが大切 ○普段の子ども達への声掛け、見守りなど子ども達へのかかわりの大切さ（家庭でも、地域でも）
成果○ 課題△	○スマホなどを通して子ども達にも身近になっているインターネットの問題点を具体的に学ぶことができた。 ○子ども達への地域の方の関わりの大切さにも触れていただき、一般参加の方も自分のこととして感じられる一幕がありよかった。 △家庭教育学級生が参加できるようにと平日の昼に設定したが、4時終了だと子どもの帰宅に間に合わないため、参加ができない方がおられた。
写 真	



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <秋津公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月29日（水）
時 間	午前10時～正午
場 所	秋津公民館 ホール
講 師	桜田 幸子 さん （4コマ漫画家、エッセイスト）
演 題	「おっぱいの達人」～心の引き出し～
内 容	講師ご自身の子育て体験のエピソード、モットー「どぎゃんかなるて！！」の余裕を持つ大切さやたくさんの”心の引き出し”の中に「自信」を発見等イラストでユーモア、笑いを交えながらの話だった。
成果○ 課題△	○子育て世代の共感をよび、安心感と心の余裕を持てるお話で、家庭教育、子育て支援を実感できる内容だった。 ○この会をきっかけに1つの中学校の家庭教育学級が復活した。 △参加者が少なめであった。

写 真



「心の引き出し」の中に得意とする宝物があ

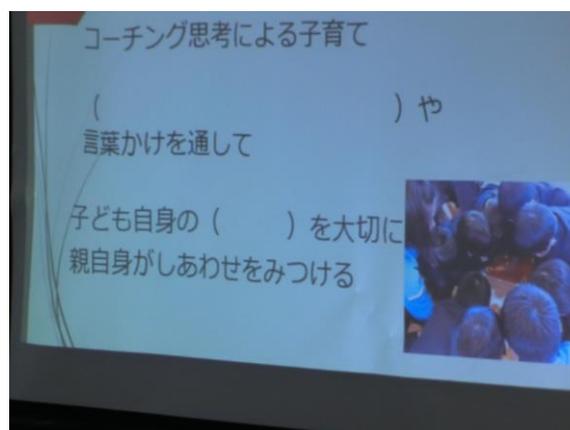


子育てのモットーは「どぎゃんかなるて！！」

②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <西部公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月10日（金）
時 間	午前10時30分～11時30分
場 所	西部公民館 会議室A
講 師	中山 和子さん (NPO法人教育支援プロジェクトマスターズ熊本)
演 題	コーチング思考による子育て
内 容	一方的に教え導くという志向ではなく、子どもの思いに傾聴し、共に考え成長していくというコーチング思考を生かした子育てについて。
成果○ 課題△	○自分の感情を出す前に一呼吸おいて発言するようにしたい。他の人からの相談があったときにも今日の講演を生かしていきたい。 △もっと長い時間話を聞きたかったなどの感想があった。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <花園公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月16日（木）
時 間	午前10時～正午
場 所	花園公民館
講 師	出口 律子さん（整理収納アドバイザー）
演 題	子どものやる気を引き出す！整理収納術 ～片付け上手になるための秘訣～
内 容	勉強が好きになる、自分からやりたくなる子どもに育てるための親の言葉かけについての講話。片付けができる子どもは、脳の情報の整理もできます。整理収納の仕方を学ぶとともに、子どもへの片付けの教え方について話された。
成果○ 課題△	○家庭での生活習慣の確立をどのようにして行うのか、コミュニケーションの取り方について、相手の立場に立って考えることの重要性をわかりやすく学ぶことができた。 ○ワークショップでは、子育ての悩みや喜びについて保護者同士で共有でき充実した時間を過ごすことができた。 △参加者が少なかった。広報の工夫が必要だった。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <河内公民館>

期 日	令和2年（2020年）2月28日（金）
時 間	午後2時20分～3時30分
場 所	河内小学校体育館
講 師	日高 佳子さん（ライフスタイルプランナー）
演 題	「無理なくできる、暮らしの中の食習慣」
内 容	新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
成果○ 課題△	
写 真	
同上	

②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <南部公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月28日（火）
時 間	午前10時50分～11時50分
場 所	南部公民館 A会議室
講 師	中山 和子さん (NPO法人教育支援プロジェクトマスターズ熊本)
演 題	「コーチングの考えや技法を子育てにどう生かすか」
内 容	<p>毎日の大変忙しい子育てに立ち向かっている家庭教育学級生へ向けて、一呼吸おいてみましょうという提案。</p> <p>そしてご自身のお子さんにコーチングの考えや技法を使って言葉をかけることで、今まで気づかなかった子どもさん自身が一生懸命がんばっていることや悩んでいることなどにも気づき・理解することができる。</p> <p>さらには与えがちなプレッシャーではなく、お子さんを伸ばすエールを送ることができますという講演。</p>
成果○ 課題△	<p>○子育て真っ最中の保護者にとって、忙しさにかまけて子どもの話をなかなか聞いていませんという方が多いなか、すぐに取り組めるヒントがちりばめられた話であった。「早速、今日言葉をかけてみます」という反応が多く見られた。</p> <p>○開級式というタイミングで保護者の方の集まりでもあるので、子どものよさに焦点を当てて子育てに向かうというよい啓発の機会となった。</p> <p>△平日開催であるために多くの参加者を集めることが難しかった。</p>

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <幸田公民館>

期 日	令和元年（2019年）7月31日（水）
時 間	午後7時～8時半
場 所	幸田公民館 A会議室
講 師	田中 慎一郎 さん （熊本市教育委員会 総合支援課指導主事）
演 題	親子で考えよう ～スマホの安全な使い方～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンについて ・家庭のルール作りについて ・スマートフォン使用で親が心配していること ・スマートフォン使用で、子どもが親に言いたいこと
成果○ 課題△	<p>○スマートフォンもまだ、進化している機器で改善されなければならぬことが理解することができた。</p> <p>○夏休みの夜に実施したことで、親子で参加でき、課題意識を共有でき、SNSがもたらすリスクについて考える機会となった。</p> <p>△現代の課題である事柄なので、参加者が多数参加できたと思った。</p>

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施 ＜飽田公民館＞

期 日	令和元年（2019年）11月2日（土）
時 間	午前8時15分～午後0時45分
場 所	飽田公民館
講 師	高智穂 さくらさん（熊本シティエフエム）
演 題	「熊本地震を振り返り」～備え・食について～
内 容	<p>校区内小・中学校の家庭教育学級参加家族へ募集を行い、まちづくり班と連携して開催する。</p> <p>はじめに防災についての話や経験した熊本地震時の対応について振り返り、住んでいる地域の避難設備や避難行動について親子で考える話題として提供する。次に災害時に役立つ知識としてペットボトルピザを親子でつくり焼いて食べる活動を行う。</p> <p>参加者は、親子14組、35人の参加</p>
成果○ 課題△	<p>○熊本地震はみんなが経験していることなので、備えや食についての関心が高く、講演の時間には子どもたちからも活発な発言があった。</p> <p>△3小1中学校の家庭教育学級参加者を中心に各学校へ参加を呼びかけたが、期待した人数より少ない参加数となった。企画する内容が参加者の関心の高いものと思っていたが、なかなか参加者増とはならない現状がある。</p>

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <天明公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月4日（火）
時 間	午後7時～8時40分
場 所	天明公民館
講 師	山本 朋慧さん （天素体流<テンスマイル>代表）
演 題	人間関係改善のヒント ～ヨガを取り入れたコミュニケーション～
内 容	◇コミュニケーションやヨガについての説明 ◇呼吸法の実践 ◇簡単椅子ヨガ ◇日常で使える心理ワーク
成果○ 課題△	○ヨガを取り入れることで精神状態をコントロールし対人関係を良好なものにすることをすることが出来た。 ○ヨガの手法を日常生活に活かしていきたいという感想が多く聞かれた。 ○毎日をポジティブに頑張っていこうという前向きな感想が多かった。 △参加者が参加したいと思うような講演会を企画したい。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <富合公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月8日（土）
時 間	午前10時15分～11時15分
場 所	富合公民館 研修室
講 師	三角 陽司さん（元富合中学校長）
演 題	無限の可能性を伸ばそう
内 容	三角陽司さんの教師としての経験から、児童生徒指導のコツ（ポイント）をわかりやすく講演していただく。家庭教育学級の開級記念講演会としたが、一般にも声をかけて広く周知した。
成果○ 課題△	○経験に基づく熱い内容だったため、講演後の反響がよかった。 ○講演会前に、アイスブレイクで和やかな雰囲気になった。これから講演会等の前に入れていきたい。 △もともと家庭教育学級生のために企画した内容であったが、参加者がごく少なく、意識を高める工夫が必要である。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <城南公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月10日（日）
時 間	午前10時～11時半
場 所	城南公民館 大学習室
講 師	森下 華奈さん （ひなたぼっこの会・カウンセラー）
演 題	不登校を経験した私が伝えたいこと
内 容	不登校経験者である講師から当時の経験や思いのほか、不登校の生徒やその家族へのケア、その他不登校対策などを語っていただき、参加者の不登校に対する認識を共通理解した。
成果○ 課題△	○不登校を経験した当事者からの話を聞くことで、不登校の児童・生徒がどのような思いか、どうするのが不登校解消にむけて効果があるかなど、とてもわかりやすく共感できた。 △児童生徒それぞれに原因や状態は違うので、この後は個人での相談等が必要となる。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <龍田公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月30日（木）
時 間	午前10時半～11時半
場 所	龍田公民館
講 師	水野 直樹さん （一般社団法人スタディライフ熊本）
演 題	わくわく子育て魔法の言葉～ペップトーク～
内 容	◇子どもに対する言葉かけが、どのように受け止められ、 子どもの心にどのように響くか振り返る。 ◇グループになってお互いに声をかけあうことで、どのよ うに感じるか実際に経験した。
成果○ 課題△	○何気ない日常的な言葉かけの大切さを実感することがで きた。 △母親だけではなく、家族全体に広めていくことでよりよ い効果を広められると感じた。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <清水公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月17日（金）
時 間	午前11時～正午
場 所	清水公民館
講 師	清水 誠一郎さん （犯罪被害者遺族の会）
演 題	子どもたちの未来のために
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○わが子が事件に遭われたこと ○メール等で厳しい言葉を言われたこと ○罪の意識に悩まされ、苦しんだこと ○我が子のため、犯罪をなくすために公演を続けていること ○生まれ育った清水地区で生きていくと決めたこと
成果○ 課題△	<ul style="list-style-type: none"> ○本人や家族の苦しみを知り、子どもに対する危機意識や対応に仕方ついて考える機会になったこと ○子どもが手にするスマホなどのSNS等での言動がいかに人を傷つけるかを知ることができたこと △話の過程で犯罪についての話題が出ること
写 真	



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <北部公民館>

期 日	令和元年（2019年）9月22日（日）
時 間	午前10時～11時半
場 所	北部公民館 大会議室
講 師	水野 直樹さん （NPO法人ソナエトコ代表）
演 題	みんなで考えよう！防災について
内 容	◇災害時の「自助」・「公助」・「共助」の考え方を学ぶ。 ◇これまでの災害事例（地震・豪雨など）を通して、対策の課題を学ぶ。 ◇今後の災害を想定して、災害に備える。
成果○ 課題△	○他の事業との連携講座として位置付けたので、参加者が多く、活動が活発になった。 △参加者が各年代にわたり、活動の進め方が難しかった。

写 真



②家庭教育支援に関する講演会の実施
 <植木公民館>

期 日	令和元年（2019年）12月21日（土）
時 間	午前10時～正午
場 所	植木公民館 多目的ホール
講 師	村上 奈美さん （マリオネット代表取締役）
演 題	子どもを守るスマートフォンの持たせ方
内 容	◇子どもにスマートフォンを持たせるにあたり、いじめや性犯罪被害から守るために、親として知っておくべきこと、やらなければならないことを学ぶ。
成果○ 課題△	○新聞・テレビでよく目にする問題だけでなく、ゲームを通じた詐欺まがいの被害等、様々な問題が身近にあることがよく分かった。 △参加者をどうやって集めるかが課題である。

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <中央公民館>

期 日	①令和元年（2019年）6月 7日（金） ②令和元年（2019年）6月12日（水）
時 間	午前10時～正午
場 所	①壺川小学校 PTA会議室 ②城東小学校 和室
講 師	中央公民館社会教育主事・社会教育指導員
講座・講演会名	家庭教育学級運営の進め方
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・壺川小学校、城東小学校それぞれに実施され開設校の校長先生から家庭教育の意義について話を伺った。また、最初の集まりなので、学級生から話題性のあるテーマや関心を集めやすいテーマを設定して、ワークショップ形式で実施した。 ・研修やセミナーのアイスブレイクなどで用いられる自己紹介でなく、他己紹介を行い、コミュニケーション能力の育て方や食育の大切さ等の親学についても話し合われた。
成果○ 課題△	<p>○子どもを伸ばすために家庭でできることとして、お互いに伝え合う力を高め、自分の意思を適切に表現することや相手の話を的確に理解することを学べた。</p> <p>△運営については、家庭教育学級生を中心として運営する形をとるが、公民館が支援することで、学級生を増やしていくように努めたい。親子でのものづくり体験や自然体験など、様々な企画を通して、学級生が楽しみながら交流し、学べる機会を提供していきたい。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <大江公民館>

期 日	令和元年（2019年）4月26日（金）
時 間	午前10時30分～正午
場 所	大江公民館 大ホール
講 師	山本 英史さん（熊本市教育センター指導主事）
講座・講演会名	スマホ・SNS時代の情報モラルの進め方
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5、6人を1グループを編成して、情報モラルかるたを進めていく。札の内容についての解説や考えてほしいことなどは講師が適宜話をして進める。 ・ 取った札を「自分が気をつけたい札」「子どもに伝えたい札」「わからなかった札」を分類し、グループで討議する。
成果○ 課題△	<p>○携帯電話を中心としたSNSについての意識を高まり、家庭での話題として取り上げたいという感想が聞かれた。</p> <p>○家庭教育学級の学級生は、意識の高い保護者の方が多いという講師の感想であった。</p> <p>△家庭教育学級から学校や学級へとどのように啓発していくか、学校との連携を図っていく必要がある。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <五福公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月14日（金）
時 間	午前10時～11時
場 所	五福公民館 中会議室 A
講 師	五福公民館社会教育主事
講座・講演会名	「親の学び」プログラム
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・くまもと「親の学び」プログラムを体験する中で、参加者それぞれが、自分の思いや考えを自由に語れる雰囲気づくりをする。 ・プログラムのメニュー <ul style="list-style-type: none"> ①頭の体操です！ ②重なったら、パン！ ③後出しじゃんけん④私、今、〇〇をがんばっています！ ⑤トーク&トーク～すごろく de 紹介～ ⑥ケーススタディ『あなたなら？』 ⑦プログラムのまとめ
成果○ 課題△	<p>○本年度、家庭教育学級に初めて参加された方々もプログラム体験を通して、思いや考え、悩み等を気軽に話せる雰囲気をつくることができた。</p> <p>△五福小と一新小の2校合同で開催した。各学級生同士がもっと交流できるようなプログラム内容になるように検討する余地があった。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <東部公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月30日（木）
時 間	午前10時～正午
場 所	東部公民館 ホール
講 師	東部公民館社会教育主事
講座・講演会名	家庭教育学級合同開級式
内 容	・合同開級式の中に「親の学び」プログラム体験として、1時間ほどのプログラムを行った。アイスブレイクからロールプレイングによる「誰だって悩みはある。一人で悩まず話してみよう。」を行った。初対面同士でも“なりきり”のロールプレイングなので取り組みやすいことと、家庭教育学級に参加している方々がリーダーとなり、周りの方々へと手を差し伸べていただけるようにとの思いを込めたものであった。
成果○ 課題△	○アイスブレイクとともにグループ分けを行ったので、かなりシャッフルされており、参加者が新鮮さを感じていた。 ○ロールプレイングの台本があるので、話しづらいという場面がなく、全員が参加できていた。 △最後に感想を述べてもらうのだが、予想したほどには多様な意見が出にくかった。

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <託麻公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月11日（月）
時 間	午後2時15分～2時45分
場 所	託麻東小学校 体育館
講 師	中山 久美さん、高木 徳文さん （くまもと親の学びプログラムトレーナー、熊本市家庭教育地域リーダー）
講座・講演会名	「親の学び」プログラム講座（講座）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学时健康診断で来校した新入児保護者約200人を対象とした「親の学び」プログラム講座を実施した。 ①黄色い布が講師の手から離れている間、保護者は拍手する。 ②自己紹介シート&子ども紹介シートに記入する。 ③影絵の際のキツネとウサギの指を使った指遊び
成果○ 課題△	<p>○リラックスしたムードを作ることを大切に話ぶりであったので、保護者の方々の緊張をほぐすことができた。</p> <p>○一つ一つのプログラムと新入児の保護者としての心構えを関連付けられて、親として、また新入児の保護者としての学びのある講座となった。</p> <p>△限られた時間と場所、約200人の大人数ということで、グループワークを行うことができず、保護者同士の交流という点では課題が残った。</p>
写 真	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <秋津公民館>

期 日	令和2年（2020年）2月20日（木）
時 間	午後1時～2時半
場 所	秋津公民館 A会議室
講 師	秋津公民館社会教育主事
講座・講演会名	家庭教育学級合同運営員会
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級合同運営委員会を開催し、今年度の活動の情報交換と来年度への志向についての話し合いを行った。参加は秋津小、桜木小、桜木中の今年度開設の3校の家庭教育学級生、昨年度開設していた若葉小の代表の方が参加した。 ・初めにアイスブレイクを兼ね郷土に関する理解を深めるため、秋津小学校6年生と横井小楠顕彰会等の協力で本年度作られた「横井小楠カルタ」を実施した。今年度横井小楠記念館の訪問をした学級もあったが、さらに多くの方の理解の深まりにつながるよう、来年度全ての開設学級で訪問を取り入れる方向になった。
成果○ 課題△	<p>○郷土に関する学習として行ったワークショップ「横井小楠カルタ」は大変好評であった。</p> <p>○今年度再開した学級もあり、学習内容や運営方法などの情報交換は大変有効で積極的な話し合いができた。</p> <p>△どの学校も次年度への引継ぎに不安があり、有効な手立てや支援をどうするかが課題である。</p>
写 真	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <西部公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月10日（金）
時 間	午前10時半～11時
場 所	西部公民館 会議室A
講 師	緒方 清美さん (NPO法人教育支援プロジェクトマスターズ熊本)
講座・講演会名	アイスブレイク & 子育てトーク
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師のこれまでの経験をもとにした子育てに関する話題を提供してもらい、それをもとに自己紹介を兼ねて参加者自身の子どもを紹介し合うという内容であった。 ・事前に用意された花の絵カードを使って、時間をかけずにグルーピングを行い、自己紹介を兼ねてグループでの活動を進めていくものであった。初対面の人が多かったが、効果的なアイスブレイクにより、その後の活動もスムーズに進んでいった。
成果○ 課題△	<ul style="list-style-type: none"> ○合同の開講式の時に、手描きの花の絵カードを使い「なぜこの花を選んだのか」など、自然な会話から活動をスタートさせることができた。 ○お互いの共通点を話し合うことで、親近感を持つことができ、良好な人間関係を築くよいきっかけとなった。

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <花園公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月23日（日）
時 間	午前10時～正午
場 所	花園公民館 ホール
講 師	熊本市障がい保健福祉課 熊本市社会福祉協議会
講座・講演会名	みんなが取り組む障がい者サポート
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義による障がい者サポートの方法、インクルーシブ教育についての学び ・車いす体験、視界の制限、足の固定、重りの装着等の体験キットによる障がいの疑似体験
成果○ 課題△	<p>○障がい者サポーター制度の合言葉は、「できることを・ちよつとずつ」。今日の研修で、自分ができることをちよつとでもいいので実践していこうと思ったという感想が聞かれた。</p> <p>○ヘルプカードについて知ることができた。困っている人には積極的に声掛けするようになっていくきっかけとなる。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <河内公民館>

期 日	令和元年（2019年）9月12日（木）
時 間	午前10時40分～11時25分
場 所	芳野保育園
講 師	河内公民館社会教育主事・社会教育指導員
講座・講演会名	「親の学び」プログラム（おでかけ公民館講座）
内 容	①アイスブレイク（幸せジャンケン・仲間で集まろう） ②トーク&トーク～すごろくde紹介～ ③私の考え、あなたの考え、そうそうわかる ～いろいろな考え～ ④先輩に学ぶ（自尊感情について）
成果○ 課題△	○ゲームなどを通して、普段交流のない保護者の方同士が話をしたり、いろいろな意見を聞いたりする機会を持つことができた。 ○子育てのことや家庭での様子など、他の学級生の方と話すきっかけづくりになった。オキシトシン（幸せホルモン）があふれるプログラムだったという感想が聞かれた。 △今回で3回目ということで、ややマンネリ感が出てきているという意見があった。

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <南部公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月28日（火）
時 間	午前10時半～11時半
場 所	南部公民館 A会議室
講 師	緒方 清美さん (NPO法人教育支援プロジェクトマスターズ熊本)
講座・講演会名	子育てトーク&ワークショップ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ担当講師ご自身の子育ての失敗を振り返るエピソードの中から、親として見えていなかった自分の子どものよさを紹介し、そのことを参加者で共有した。 ・かけがえのない自分の子のよさに光を当てていこうというグループワークを行った。具体的な内容としては、受付のときに配られた手描きの花の絵カードごとにグルーピングを行い、各グループでの自己紹介を兼ねたそれぞれの失敗談の中から見えてきた自分の子どものよいところについて紹介し合った。
成果○ 課題△	<ul style="list-style-type: none"> ○受付時に手にした手描きの花の絵カードをもとに「なぜアジサイの花を選んだの…」などと自然な会話からほほえましくグループワークがスタートできていた。 ○普段意識することの少ない自分子どものよさに焦点を当てることで今後の親子の関わりが向上すると期待できる。 ○失敗談は他人にも話しやすいので、話題の切り口として有効だった。また、子どものよさを語るためグループに良好な雰囲気満ちていた。
写 真	
	

③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <幸田公民館>

期 日	令和元年（2019年）5月30日（木）
時 間	午前10時半～11時半
場 所	幸田公民館 A会議室
講 師	石川 小百合さん （アロマテラピータッチケア）
講座・講演会名	親と子どものココロの話 ～花から学ぶ感情のくせ～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・母親によくある代表的な感情とそこから繋がる親子のコミュニティーの取り方を知り、良好な親子関係について学んだ。 ・参加者が、30枚の花の写真の中から気になる花の写真を選ぶことで、今の感情を認識し、その感情に対するケアについて知ることができた。
成果○ 課題△	<p>○子育てにある楽しさや悩みを共有でき、その解決手法（コミュニケーション等）について知る機会となったことが有意義であった。</p> <p>○選んだ花から自分自身の感情の様子を知り、その感情から子育てにどのようにつなげることを理解できた。</p> <p>△参加者は38名だったが、更なる参加者増につながる広報について考えていく必要がある。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <飽田公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月25日（火）
時 間	午後7時～8時45分
場 所	飽田公民館 生活工房室
講 師	飽田公民館社会教育指導員
講座・講演会名	人権感覚について
内 容	・数枚の絵を見て気になるところを探し、5～6人のグループで互いの気になるところを出し合った。その際に、気になる理由についても出し合うことで、視点や気づきの相違を認め合い、「人権感覚を高める」機会を持つことができた。
成果○ 課題△	○初めて顔を合わせた方と人権感覚に視点を置いて、同意する点や違いについての意見交換をすることができた。 △できるだけ多くの参加があるように日中ではなく夜（午後7時から）の開催としているが、なかなか増えない現状がある。

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <天明公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月7日（木）
時 間	午後7時～9時
場 所	天明公民館
講 師	豊田 智美さん （フラワープロデューサー凜花）
講座・講演会名	簡単リースづくり
内 容	天明中学校家庭教育学級の活動としておこなった。 参加者でアイスブレイク後、家族や子育ての悩みを相談し あった。その後、ドライフラワーを使った簡単なリース作 りを行い、クリスマスでの家族の絆づくりにつなげても らった。
成果○ 課題△	○初めての試みであったが、わきあいあとした雰囲気、リース 作りを楽しむことが出来た。 最良の特性を活かし、且つ、創造性を働かせて、素敵なリース が出来上がり、参加者はとても満足していた。 △8名の参加であったので、もう少し、参加者が欲しい。

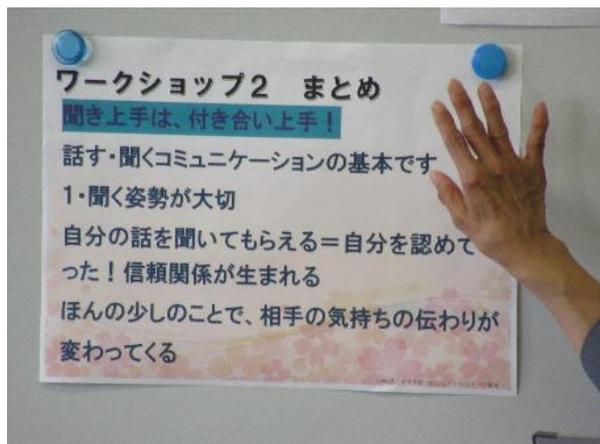
写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <富合公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月22日（土）
時 間	午前10時～正午
場 所	富合公民館 研修室
講 師	教育支援プロジェクト・マスターズ熊本
講座・講演会名	信頼を築く傾聴
内 容	<p>・家庭において家族の話をどのように聞いているか、家族のきずなを深める聴き方のポイントを学んだ。聴き方につながるアイスブレイクやワークショップをしながら考えていった。また、家庭教育だけでなく、日常生活での内容も含んだ内容であった。</p> <p>①アイスブレイク ②ワークショップ ③傾聴についてミニ講話</p>
成果○ 課題△	<p>○家族、子どもとの向き合い方という一見硬そうな内容であるが、アイスブレイクやワークショップの手法を用いることで、参加体験しながら学ぶことができた。アンケートでも、楽しく学ぶことができたという回答が多かった。</p> <p>△家庭教育学級生を中心とした講座にしたかったが参加者が少なかった。内容的にも子育てに役立つことも多かったので、広く周知して参加者を増やしていくようにしたい。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <城南公民館>

期 日	令和元年（2019年）6月14日（金）
時 間	午後6時半～8時半
場 所	城南公民館 視聴覚室
講 師	高木 徳文さん（熊本市家庭教育地域リーダー）
講座・講演会名	家庭教育学級合同開級式及び6月学習会
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「親の学び」プログラムの子育てすごろくを活用し、参加者自身の子育てについて話を進めた。適宜、講師の体験談やアイスブレイク、ゲームなどを取り入れ、話しやすい雰囲気を作った。 ・「親の学び」プログラムのあとに、家庭教育学級で学びたいことを、ワークショップ形式で話し合った。
成果○ 課題△	<p>○学級生からさまざまな子育ての悩みやエピソードが出されたため多くの学びがあったとともに、学級生同士のつながりを作ることができた。</p> <p>○年間計画の一部を学級生が企画するようにしたので、自主的な学びへつながる取組となった。</p> <p>△参加者が少なかったため、内容や目的などを周知する広報活動の工夫を行う必要がある。</p>

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <龍田公民館>

期 日	令和元年（2019年）8月23日（土）
時 間	午前10時～正午
場 所	龍田コミュニティセンター
講 師	一般社団法人 夢・理想の里
講座・講演会名	楽しく美味しく防災を学ぼう ～ペットボトルピザ作りをとおして～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・避難していて調理に使う道具がそろっていないとき、どうすれば調理ができるかを考える講座を親子参加の形態で実施した。 ・「身の回りのもので、道具の代わりになるように工夫して使ってみる」ということを押さえ、「道具が少ないとき、何を使えばピザを作れるだろうか」と考えていった。その際、ペットボトルを使う理由や、オーブンのかわりになるものは何かを親子で考えたりする活動のあと、実際にピザを作って試食した。
成果○ 課題△	<p>○ペットボトルや段ボール箱といった避難所にある物を使って実際にピザを焼く体験を通して、道具が不足していても工夫することで料理ができる事を参加者が実感できた。</p> <p>○どんなものが調理道具のかわりになるか考えるきっかけとなった。</p> <p>△炭火を使うので、安全のためスタッフが数人必要になる。</p>
写 真	
 	

③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <清水公民館>

期 日	令和2年（2020年）3月5日（木）
時 間	午前11時 ～ 正午
場 所	清水公民館
講 師	清水公民館 社会教育主事
講座・講演会名	家庭教育学級合同閉級式
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 エンカウンター 2 さいころトーク 3 答えやすい質問の仕方 4 ふりかえり
成果○ 課題△	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
写 真	
同上	

③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <北部公民館>

期 日	令和元年（2019年）11月27日（水）
時 間	午前9時半～11時半
場 所	川上小学校 第4学年2組教室
講 師	藤原 美穂さん（川上小学校教諭）
講座・講演会名	I C T 教育について
内 容	・ I C T を活用した授業の現状についての講話を聞き、I C T を活用した授業を参観したり、模擬授業を体験したりした。
成果○ 課題△	○小学校における I C T 教育の現状と今後の課題をつかむことができた。 △今回の講座に限らず、家庭教育学級全般で参加者を増やすことが難しい。

写 真



③親の学び講座等、参加体験型講座の実施
 <植木公民館>

期 日	令和2年(2020年)2月26日・3月4日・3月11日(水)
時 間	午前10時～正午
場 所	植木公民館 和室(全)
講 師	吉永 千草 さん
講座・講演会名	親子で就園準備講座
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援講座。就学前の子どもを持つ保護者と、その子どもを対象とした子育て応援講座を3回コースで実施。 ・保護者に対しては、お互いの悩みを出し合ったり、子どもへの対応の仕方を学んだりする(絵本の読み聞かせを行い、親子の絆を深める等)。 ・子どもに対しては、わらべ歌を歌ったり、指人形で遊んだりして、子ども同士のコミュニケーションを図った内容を行う。
成果○ 課題△	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
写 真	
同上	

令和元年度 熊本市 家庭教育学級 学習内容一覧

【学習領域・・・ 家庭のあり方 子どもの心身の発達 健康な生活 親子のふれあい活動 人権 環境問題 郷土 自主活動】

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
中央	家庭教育合同講演会（スマホの向こう側）		親子	田中 慎一朗さん（熊本市教育委員会総合支援課指導主事）
中央	開級式（コミュニケーション）家庭におけるコミュニケーション能力		親	中央公民館社会教育主事・社会教育指導員
中央	料理（家庭で簡単にできる料理）		親子	池田 栄子さん（料理研究家）
中央	料理（親子でピザ作り）		親子	島本 博文さん（シェフ）
中央	ドライフラワー（様々な草花のドライフラワー作り）		親	江川 結衣さん（アウラマニア）
中央	開級式（コミュニケーション）家庭におけるコミュニケーション能力		親	中央公民館社会教育主事・社会教育指導員
中央	アルバム制作（家族の写真を使って思い出アルバム制作）		親	高谷 雅子さん（アルバムアドバイザー）
中央	コミュニケーション（話し方講座）		親	岩清水 愛さん（タレント）
中央	みそ玉づくり		親	中村 あゆみさん（料理講師）
中央	読書の楽しさおもしろさ大切さ	②	親子	北野 裕子さん（北野さんちの絵本部屋主宰）
中央	料理（親子でピザ作り）		親子	島本 博文さん（シェフ）
中央	農業体験（親子で農業体験）		親子	村上 龍一さん（園主）
中央	クラフト（自然の素材を使って親子でクリスマスリース作り）		親子	陣内 和浩さん（天草青年の家職員）
中央	英会話（親子のふれあい）ゲームや遊びを通して英会話を親子で会話する		親子	天羽 智子さん（英会話講師）
大江	校内開級式 校長講話 PTA会長挨拶		親	渡邊 亨さん（帯山小校長） 川崎 裕香さん（帯山小PTA会長）
大江	校内開級式 校長講話 マッピングによる計画決め		親	須藤 聡さん（砂取小校長）
大江	校内開級式 校長講話・担当決め		親	馬場 敬子さん（大江小校長）
大江	合同開級式講演「スマホ・SNS時代の情報モラル教育の進め方」		親	山本 英史さん（教育センター情報教育室指導主事）
大江	校内開級式 校長講話		親	平野 修さん（帯山西小校長）
大江	校内開級式 校長講話		親	松島 和寿さん（白川小校長）
大江	校内開級式 講演会「笑顔が増える、親子のお片づけ」		親	宮淵 真由美さん
大江	講話「家庭でしかできない性教育」		親	怒留湯 美季さん（一般社団法人 スタディライフ熊本）
大江	教頭講話 出水小の教育・人権について		親	橋本 和幸さん（出水南小教頭）
大江	ヨガ教室		親	下田 美穂さん
大江	嗅覚反応分析講座 ～メディカルアロマ～		親	中川 美智子さん
大江	合同講演会「子どもの成長を見守る片づけのヒント」		親	詫摩 美由紀さん（一般社団法人 日本ライフオーガナイザー協会）
大江	紅茶講座		親	肥土 三紀子さん
大江	アロマワックスサシェ作り		親	山下 日出子さん（ukiuki-sweets & candle）
大江	リボンレイ作り		親	永吉 和恵さん
大江	細川流盆石講座		親	平嶋 丈山さん（一般社団法人 細川流盆石 熊本支部）
大江	パーソナルカラー診断講座		親	内山 彩子さん（SAI color & make）
大江	国際料理教室 ～スリランカカレー～		親	ジャヤラテナ・ジャヤラテナグ・イノカ・ルワンティさん（一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団）
大江	講話「家庭のできる性教育」		親	怒留湯 美季さん（一般社団法人 スタディライフ熊本）
大江	美術館親子探検ツアー		親子	熊本市現代美術館 学芸員
大江	夏休み！親子テレビ局見学体験		親子	T K Uテレビ熊本 総務部担当者
大江	親子防災体験会		親子	熊本市中央消防署員
大江	フジパンビ 黒糖ドーナツ棒 工場見学		親子	フジパンビ 四方寄工場 広報担当者
大江	ポーセラーツ教室		親	大森 道子さん
大江	ファシリテーション体験講座		親	齊藤 こず枝さん
大江	親子茶道教室		親子	福山 祥美さん
大江	曲げわっぱ・弁当箱作り		親	淋 正司さん（そそぎ工房）
大江	味噌作り		親	塩津 弘美さん（池田屋醸造合名会社）
大江	ドライフラワースワッグ作り		親	有馬 智里さん（Kanon）
大江	多肉植物の寄せ植え		親	田中 さおりさん（puku puku taniku）
大江	味噌作り		親	塩津 弘美さん（池田屋醸造合名会社）
大江	足育講座		親子	崎村 公貴さん 小野 弘和さん（一般財団法人 熊本市社会教育振興事業団）
大江	味噌、カラシレンコン作り		親	戸田 陽子さん（JA中島加工部）
大江	英進館 教育講話		親	大津 尊禎さん（英進館帯山校）
大江	ノルディックウォーキングのすすめ in江津湖		親	稲田 真一さん（株式会社 体育堂）
大江	すこやか食生活改善講習会		親	渡邊 伸子さん（熊本市健康づくり推進課）
大江	ヨガ教室		親	中川 若葉さん（ジャズダンス&ヨガスクール フィアーージュ）
大江	味噌作り		親	塩津 弘美さん（池田屋醸造）
大江	天然酵母のパン教室		親	塩塚 可奈恵さん（天然酵母のパン教室「まとりかりあ」）
大江	合同講演会「メンタルコーチが贈る子育てハッピーライフへの道案内」		親	倉淵 栄生さん（ヒューマン・コネクト・マネージメント合同会社）

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
大江	クリスマスオブジェ作り		親	光延 亜希子さん(花屋 printemps)
大江	消しゴムはんこ作り		親	竹内 浩美さん
大江	アーティフィシャルフラワーを使ったしめ縄作り		親	有馬 智里さん(Kanon)
大江	クリスマスガーランド&しめ縄リース作り		親	斉藤 知恵さん(花屋 CLARO)
大江	熊本を知ろう ~ 醤油編 ~		親	大橋 旭さん(松合食品株式会社)
大江	味噌作り		親	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
大江	クリスマスリース作り		親	切鼻 将晴さん(平田ナーセリー)
五福	合同開級式		親	倉迫 隆夫さん(五福小学校)木村 和仁さん(一新小学校)
五福	一新小開級式・校長講話・年間計画		親	木村 和仁さん(一新小学校)
五福	子育て座談会		親	塩山 武陵さん(五福小教頭)
五福	くまもと親の学びプログラム		親	五福公民館社会教育主事
五福	心の栄養「ストローク」について		親	佐々 朗子さん(メンタルサポート研究所)
五福	表情筋ストレッチ		親	平井 みはるさん(表情筋トレーナー)
五福	親子で陶芸を学ぼう		親子	馬場 和子さん(和み窯)
五福	現代美術館体験ツアー		親	坂本さん(現代美術館学芸員)
五福	味噌づくり		親	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
五福	トランポリン		親	家吉 順子さん(トランポリン普及指導員)
五福	ポーセラーツ作り		親	渡辺 いづみさん(ポーセラーツ講師)
五福	親子で和菓子作り		親子	苑田 直宏さん(和菓子職人)
五福	世界の料理(ベトナム)		親	グエンティ・キム・ハンさん(ベトナム料理講師)
五福	スワッグ作り		親	斉藤 政子さん(Natural craft オーナー)
五福	ヨガ		親	川原 幸さん(ヨガインストラクター)
五福	メイク術		親	佐藤 俊子さん(メイクセラピスト)
五福	スリランカのフェアトレードの取り組みを通して、コーヒーの美味しい淹れ方講座		親	生山 洋一さん、松生 由紀子さん(一般社団法人 日本フェアトレード委員会)
五福	合同開級式 講演会「おっぱいの達人」～心の引き出し～【感染防止のため中止】		親	桜田 幸子さん(漫画家)
東部	子どもの心のケア&校内探検		親	松本 かおりさん(こころのサポート相談員)
東部	ハーバリウム教室		親	田添 真澄さん(インストラクター)
東部	親子でパン作り教室		親子	清水 妃文さん(画図小家庭教育学級長)
東部	親子でパン作り教室		親子	清水 妃文さん(画図小家庭教育学級長)
東部	アロマでリンパケア		親	宮澤 久美さん(インストラクター)
東部	親子トランポリン教室		親子	松本 美華さん(トランポリンコーチ)
東部	親子で熊本博物館見学		親子	清水 稔さん(熊本博物館学芸員)
東部	しめ縄づくり		親	小田 俊子さん(ティーズガーデン代表取締役)
東部	親子いきなり団子教室		親子	高木 功一さん(一休本舗代表取締役)
東部	子どもの発達 凹凸座談会		親	乙丸 リミ子さん(画図小教諭)
東部	味噌づくり講座		親	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
東部	開級式と教頭講話		親	坂本 多代さん(健軍小教頭)
東部	再春館製薬工場見学		親	再春館製薬所担当者
東部	真鍮アクセサリー作り		親	池邊 智佳子さん(ジュエリー作家)
東部	味噌づくり講座		親	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
東部	子どもの成長を見守る片付けのヒント		親	詫摩 美由紀さん(マスターライフオーガナイザー)
東部	クリスマスリース作り		親	小田 俊子さん(ティーズガーデン代表取締役)
東部	骨盤体操		親	三浦 千晶さん(バレエストレッチインストラクター)
東部	スマホで撮る写真講座		親	平田 克広さん(ハコ・フォトショップ)
東部	フジパンビ工場見学		親	フジパンビ担当者
東部	イタリアおうちごはん講座		親	セルジオ ヴァッカさん(外国語講師)
東部	わかちゃんの性教育講座		親	中村 和可子さん(性教育講師)
東部	睡眠講座		親	松本 光弘さん(睡眠コンサルタント)
東部	季節を彩るリースづくり		親	小田 俊子さん(ティーズガーデン代表取締役)
東部	お茶の淹れ方教室		親	富澤 聖仁さん(お茶の富澤代表取締役)
東部	教頭講話(人権講話)		親	堀川 誠治さん(尾ノ上小教頭)
東部	性教育座談会		親	怒留湯 美季さん(スタディライフ熊本)
東部	親子de防災キャンプ教室		親子	伊東 一成さん(熊本市キャンプ協会会長)
東部	トランポリン教室		親	松本 美華さん(トランポリンコーチ)
東部	天然酵母パン教室		親	塩塚 可奈恵さん(パン作り講師)
東部	お母さんのためのアンガーマネジメント		親	矢野 真弓さん(アンガーマネジメントファシリテーター)

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
東部	味噌づくり講座		親	塩津 弘美さん（一級味噌技能士）
東部	子どもの人権講話		親	坂口 昭夫さん（社会福祉法人甘木山学園子ども家庭支援センター「あまきやま」センター長）
東部	子どもを守る防犯学習		親	熊本県警生活安全課防犯抑止対策係職員
東部	親子トランポリン教室		親子	松本 美華さん（トランポリンコーチ）
東部	子育てに生かすコーチング		親	田中 京子さん（コミュニケーション能力認定トレーナー）
東部	お家でできる洋食		親	上田 美沙子さん（料理講師）
東部	ハーバリウム教室		親	奥村 純さん（アトリエGreen Sea）
東部	年末年始のお部屋を飾る寄せ植えづくり		親	小田 俊子さん（ティーズガーデン代表取締役）
東部	未来のCEOを育てるための親のマインド講座		親	倉本 佐織さん（SKマネジメントオフィス代表）
東部	校長講話		親	森 春美さん（月出小校長）
東部	サントリービール工場見学		親	サントリービール工場担当者
東部	味噌づくり講座		親	塩津 弘美さん（池田屋醸造）
東部	アロマ虫よけ&バスボムづくり		親子	中山 由佳さん（家族のためのママアロマ「dolce」）
東部	秋のアクセサリ作り		親	中村 絵里加さん（happy clover）
東部	いきなり団子・だご汁づくり		親	講師なし
東部	親子トランポリン教室		親子	竹崎 由美さん（熊本トランポリンクラブ）
東部	硬筆教室		親	小川 兼子さん（書道講師）
東部	親子かけっこ教室		親子	大貫 智義さん（熊本アスリートワーク理事長）
東部	ポーセラーツ体験教室		親	今村 育子さん（アトリエIKUKO）
東部	校長講話		親	塚本 知樹さん（健軍東小校長）
東部	エコクラフトでバッグづくり		親	川俣 京子さん（手芸講師）
東部	天然酵母パン教室		親	塩塚 可奈恵さん（パン作り講師）
東部	校長講話		親	田口 弘明さん（山ノ内小校長）
東部	アロマテラピー		親	森岡 祐果さん（セラピスト）
東部	スワッグ講座		親	奥村 純さん（アトリエGreen Sea）
東部	天然酵母パン教室		親	塩塚 可奈恵さん（パン作り講師）
東部	ジョイママ.comコンサート		親	嶋田 尚美さん（ジョイママ.com代表）
託麻	開級式		親	講師なし
託麻	開級式・校長講話「ちょっといい話」		親	大園 隆明さん（長嶺中学校長）
託麻	開級式・校長講話「一生懸命はカッコイイを実践するための子育て論」		親	講師なし
託麻	開級式・校長先生の講話「給食指導の大切さ、登下校で歩くことの大切さ」		親	松並 孝志さん（託麻南小校長）
託麻	開級式		親	講師なし
託麻	開級式・教頭講話「熊本地震に学ぶ正常性バイアス、同調性バイアスからの脱却」		親	藤川 寛さん（長嶺小教頭）
託麻	進路指導講話		親	志水 啓介さん（長嶺小進路指導担当）
託麻	開級式・ランチ会		親	講師なし
託麻	開級式・教頭講話「先生と東部中の歴史」		親	小崎 洋之さん（東部中教頭）
託麻	校長先生の講話「人権について」		親	津田 秀樹さん（託麻北小校長）
託麻	合同講演会「子どもたちのインターネット事情と大人がすべきこと～子どもための情報モラル教育の進め方～」		親	田中 慎一朗さん（熊本市教育委員会 総合支援課指導主事）
託麻	学級生座談会		親	講師なし
託麻	個性心理学		親	林 千穂さん（個性心理学研究所認定講師）
託麻	味噌作り		親	塩津 弘美さん（池田屋醸造）
託麻	親子そば作り教室		親子	松田 省子さん（熊本そばの会）
託麻	ライフオーガナイズ片付けアドバイス講座		親	詫摩 美由紀さん（マスターライフオーガナイザー）
託麻	バッククッキング		親	食生活改善推進員の皆さん
託麻	保健室からみた子ども達		親	東田 美穂さん（長嶺中養護教諭）
託麻	白川の話や河原遊び		親子	白川わくわくランドの皆さん
託麻	熊本博物館プラネタリウム見学		親子	講師なし
託麻	らくのうマザーズ親子工場見学		親子	三角 詠理さん（らくのうマザーズ熊本工場工場管理課）
託麻	東京オリンピック競技を体験しよう！クライミング体験		親子	クライミングパーク菊南インストラクター
託麻	T K U「かたらんね」番組参加		親子	講師なし
託麻	カントリーパークピザ作り体験・自然体験		親子	講師なし
託麻	親子陶芸教室		親子	馬場 和子さん（陶芸家）
託麻	親子活動食品サンプル作り		親子	橋本 圭三さん（日本美術サンプル営業所）
託麻	ライフオーガナイズ「子どもを見守る片付け」		親	詫摩 美由紀さん（マスターライフオーガナイザー）
託麻	保健室の先生と話そう		親	安部 亜弥さん（託麻西小養護教諭）
託麻	世界の料理教室～中国餃子～		親	路 菁さん（国際交流振興事業団講師）

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
託麻	無添加せっけん作り		親	甲斐 裕規さん(せっけん工場topi代表)
託麻	進路指導講話		親	白川 諒輔さん(西原中教諭)
託麻	パーソナルカラー診断		親	内山 彩子さん(カラーコンサルタント)
託麻	味噌作り教室		親	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
託麻	手作りみそ教室		親	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
託麻	熊本博物館見学		親子	熊本博物館職員
託麻	ヨガ教室		親	正海 久美子さん(ヨガインストラクター)
託麻	座禅体験		親	中野 道隆さん(見性寺住職)
託麻	親子UVレジンアクセサリー作り		親	木村 恭子さん(ハンドメイドクリエイター)
託麻	スワッグ作り		親	大前 亜香里さん(フラワーデザイン 花咲小町)
託麻	ママさんトランポリン		親	守口 好美さん(トランポリン普及指導員)
託麻	個性心理学		親	阪口 恭子さん(個性心理学研究所認定講師)
託麻	テレビ局見学		親	テレビ熊本職員
託麻	世界の料理～台湾～		親	照喜名 桂芬さん(国際交流振興事業団講師)
託麻	暮らしに役立つメディカルアロマ作り		親	中山 由佳さん(米国doterra社アロマセラピスト認定セラピスト)
託麻	クリスマス料理教室		親	三上 絵理さん(シェフト マン オナー講師)
託麻	リボンリース作り		親	川山 智子さん(リボンリース講師)
託麻	みそづくり		親	塩津 弘美さん(味噌技能士)
託麻	テニス講座		親	山下 政弘さん(テニスインストラクター)
託麻	国際交流活動		親	トマオ マーティさん(ヒルトップ インターナショナルスクール園長)
託麻	フルーツリース作り		親	奥村 純さん(アトリエ Green Seaオーナー)
託麻	食育講座「中学生に必要な栄養について」		親	野口 奈美樹さん(保健子ども課管理栄養士)、西原校区食改の皆さん
託麻	玉名牧場見学		親	矢野 きみのりさん(牧場オーナー)
託麻	パーソナルカラー診断		親	阪本 真琴さん(スタイリスト)
託麻	親子ミニ門松作り		親子	原嶋 友子さん(全国ものづくり塾)
託麻	育児講話		親	江川 めぐみさん(託麻西小通級指導教室担当教諭)
託麻	熊本博物館見学		親	講師なし
託麻	助産師さんの性教育		親	赤木 夏代さん(助産師)
託麻	親子トランポリン		親子	守口 好美さん(トランポリン普及指導員)
託麻	生徒・生活指導について		親	池田 政秀さん(長嶺中生徒指導主事)
託麻	骨盤底筋体操		親	辻 陽子さん(理学療法士 他)
託麻	ママのためのメイクアップ講座		親	内山 彩子さん(カラーコンサルタント)
託麻	世界の料理～フィリピンの家庭料理～		親	有働 アニタさん
託麻	閉級式・校長講話「地震から命を守るために」		親	園田 研之さん(東部中学校長)
託麻	閉級式		親	講師なし
託麻	閉級式		親	講師なし
託麻	閉級式		親	講師なし
託麻	閉級式・校長講話		親	森江 一史さん(長嶺小学校長)
託麻	閉級式・教頭講話「未来を生き抜く子どもたちへ～私たちがやるべきこと～」		親	勝田 広幸さん(西原中教頭)
託麻	閉級式		親	講師なし
託麻	閉級式		親	講師なし
秋津	講演「おっぴいの達人」 閉級式、年間計画、意見交換		親	桜田 幸子さん(4コマ漫画イラスト)
秋津	ヨガ体験		親	渡邊 圭子さん(ヨガインストラクター)
秋津	ハンドマッサージ・閉級式		親	津田 多美子さん
秋津	フジバンビ工場見学		親子	フジバンビ 担当社員
秋津	フジバンビ工場見学		親子	フジバンビ 担当社員
秋津	熊本博物館見学・天体学習 特別企画 世界の昆虫展		親子	博物館学芸員
秋津	思春期の対応Part1		親	田上 裕子さん
秋津	スリランカカレー作り講座		親	国際交流会館出前 スリランカ担当者
秋津	おこづかい講座		親子	今村 誠さん(ファイナンシャルプランナー)
秋津	桜木小のICT教育 ipad講座～Part1～		親	古閑さん(桜木小教諭)
秋津	見えないけれど心に響く歌を届けます		親子	大山 桂司さん
秋津	まつぼっくりツリー作り		親子	豊野少年自然の家職員
秋津	熊本市議会見学・傍聴		親	田上さん(市議会議員)

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
秋津	小楠記念館・弥富家訪問		親	弥富さん(記念館館長)
秋津	トランポリン体験講座		親	松本 美華さん
秋津	こけ玉作り		親	笠 節美さん
秋津	味噌作り教室		親	池田屋醸造職員
秋津	桜木小のICT教育ipad講座～Part 2～		親	古閑さん(桜木小教諭)
秋津	作動体験「茶の湯を楽しもう」		親	後藤 啓子さん
秋津	活動交流・家教運営について(運営委員会)		親	秋津公民館社会教育主事
秋津	大人のための「絵本セラピー」(予定)		親	中山 美加さん 絵本セラピスト・作家
秋津	閉鎖式・ハンドマッサージ(予定)		親	津田 多美子さん
秋津	親の学びPart 2(反抗期の対応)(予定)		親	田上 裕子さん(元桜木小教諭)
秋津	お片づけ講座(お片づけカルタを使い楽しみながら学ぶ)(予定)		親子	井形 純子さん
西部	飾り巻き寿司作り		親子	河元 弘美さん(料理教室講師)
西部	親子でズンパを楽しもう		親子	上月 佑介さん(体操講師)
西部	親子でそば打ちに挑戦		親子	中山 正直さん(熊本そばの会会長)
西部	骨盤調整withピラテス		親	小島 愛さん(ヨガ講師)
西部	かわいい巻き寿司作り		親子	河元 弘美さん(料理教室講師)
西部	親子ヨガ教室		親子	蔵座 忍さん(ヨガ講師)
西部	ヨガ教室		親	片山 享子さん(ヨガ講師)
西部	おもしろ理科教室		親子	古賀 一史さん(西部公民館社会教育指導員)
西部	親子バッククッキング		親子	井村 コリエさん(お菓子作り講師)
西部	NHK見学		親子	NHK職員
西部	親子トランポリン体験		親子	石井 まこさん(スポーツ工房クオラ)
西部	体にやさしい安全安心手作り味噌づくり		親子	戸田 陽子さん(JA加工部)
西部	親子ズンパ講座		親子	平田 淑加さん(ズンパインストラクター)
西部	手打ちそば作り体験		親	中山 正直さん(熊本そばの会会長)
西部	手芸教室「手縫いで鍋つかみ」		親	森永 めぐみさん(手芸講師)
西部	5校合同ズンパ		親子	平田 淑加さん(ズンパインストラクター)
西部	しめ縄作りプロジェクト		親子	東條 英利さん(神社文化評論家)
西部	防災学習「ペットボトルピザ作り」		親子	原 建史さん(防災学習講師)
西部	曲げわっぱ作り		親	淋 正司さん(伝統工芸師)
西部	クリスマスリース作り		親	向山 ゆかりさん(クラフト講師)
西部	おしゃれしめ縄づくり		親	笠 節美さん(フラワー装飾講師)
西部	親子ニュースポーツ		親子	永嶋 英孝さん(スポーツ振興課指導主事)
西部	パルクール体験教室		親子	廣田 悦生さん(スポーツインストラクター)
西部	バレンタインチョコ作り		親子	藤本 尚子さん(料理教室講師)
西部	味噌作り		親	池田屋醸造職員
花園	講演「子どものやる気を引き出す！整理収納術～片付け上手になるための秘訣～」閉鎖式、年間計画、意見交換		親	出口 律子さん(整理収納アドバイザー)
花園	ソーセージ作り		親子	ビューライフ担当職員
花園	虫よけスプレー作り		親	花園公民館社会教育指導員
花園	親子で障がい者サポーター研修		親	熊本市障がい保健福祉課職員、社会福祉協議会職員
花園	IHクッキング		親	九州電力フードコーディネーター
花園	虫よけスプレー作り		親	萩尾 泰弘さん(花園公民館社会教育指導員)
花園	フジパンビ見学		親	森本 裕さん(フジパンビ直販部通信販売課)
花園	親子陶芸教室		親子	田口 和代さん(陶芸家)
花園	親子カヌー体験		親子	溝口 廣行さん(日本海洋少年団)
花園	「デザインあ」展見学		親子	坂本 顕子さん(熊本市現代美術館)
花園	小物(タッセルチャーム)作り		親	米田 まりさん(花園小学校家庭教育学級生)
花園	オレンジリボンサポーター講座		親	田原 泉さん(にじいろCAP)
花園	味噌作り		親	池田屋醸造職員
花園	からいも餡入り団子汁作り		親	山中 信子さん(花園食生活改善委員)
花園	親子陶芸教室		親子	田口 和代さん(陶芸家)
花園	親子ズンパ体操		親子	光井 由加里さん(be-smile)
花園	門松作り		親	泉 尚子さん(造園業)
花園	博物館見学		親子	熊本市博物館職員

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
花園	骨盤矯正		親	家吉 順子さん(整体師)
花園	味噌作り		親	池田屋醸造職員
花園	運営委員会		親	講師なし
花園	閉級式(家庭の在り方についての講話)		親	講師なし
花園	おはぎ園散策		親子	森林学習館職員
河内	教頭先生の講話		親	岸森 和彦さん(河内小教頭)
河内	家庭でできる救急法		親	西消防署河内出張所職員
河内	子どもたちに人気の野菜たっぷりメニュー(調理実習)		親	河邊 和香子さん(河内小学校栄養職員)
河内	河内の歴史		親	稲津 暢洋さん(熊本市文化振興課埋蔵文化財調査室飽田文化財資料室)
河内	喫煙防止教室		親子	藤本 恵子さん(看護師)
河内	食生活から見直す 自分の将来の夢		親子	東 貴子さん(西区子ども保健課職員)
河内	思春期の皆さんに伝えたいこと(性教育)		親子	池田 景子さん(池田クリニック副院長)
南部	合同閉級式 記念講演及びワークショップ		親	中山 和子さん・緒方 清美さん(NPO教育支援プロジェクト・マスターズ熊本)
南部	開級式・年間計画		親	講師なし
南部	開級式・年間計画		親	講師なし
南部	開級式・年間計画		親	講師なし
南部	学校探検		親	諏訪 浩二さん(力合西小学校長)
南部	料理教室		親	西 美和さん(九州米粉利用アドバイザー)
南部	味噌づくり教室		親子	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
南部	ハンドメイド教室		親子	今村 育子さん(アトリエIKUKO)
南部	親子ズンバ		親子	東 優紀さん(ZUMBA®インストラクター)
南部	味噌づくり教室		親子	塩津 弘美さん(池田屋醸造)
南部	流しそうめん体験		親子	椎葉 直之さん(力合小学校おやじの会 会長)
南部	親子工作		親子	カインズ宇土店スタッフ
南部	サントリー工場見学		親	サントリー熊本工場スタッフ
南部	ハーブの寄せ植え		親	ダイキ本店スタッフ
南部	スクラップブック作り&給食試食会		親	徳永 真由美さん(クリエイティブメモリーズアルバムアドバイザー)
南部	親子パン作り		親子	竹下 紀子さん(めりめろ店主 子ども食堂開設)
南部	親子パン作り		親子	清水 妃文さん(画図小学校家庭教育学級長)
南部	収納術		親	宮淵 真由美さん(整理収納アドバイザー)
南部	料理教室		親	藤本 尚子さん(パン・お菓子・ケーキ作り講師)
南部	陶芸教室		親	ローゼン三早枝さん(陶芸家)
南部	動物愛護センターふれあい教室		親子	動物愛護センター職員
南部	今こそ言の葉の力~国語かってなあに~		親	橋本 須美子さん(教育センター主任主事)
南部	裁判所見学		親	熊本地方裁判所職員
南部	アロマハンドクリームづくり		親	野口 良枝さん(メディカルアロマアドバイザー)
南部	コサージュ作り		親	成松 由実子さん(フラワーショップ ファインムラサキ)
南部	リンパマッサージ		親	栗山 由美子さん
南部	合同閉級式 記念講演(ワークショップ)		親	入江 里美さん(NPO法人くまもと子どもの人権テーブル副代表)
幸田	開級式「親の学びプログラム」		親	幸田公民館社会教育主事
幸田	子育て講話「私の子育てを探して」		親	石川 小百合さん
幸田	藤本先生のおいしい料理		親	藤本 尚子さん
幸田	合同講演会「夢への道のり」		親子	中尾 有紗さん
幸田	ビール工場見学		親	(株)サントリービール嘉島工場職員
幸田	親子で考えようスマホの安全な使い方		親子	田中 慎一郎さん
幸田	「親子でエコスクール」		親子	熊本市環境総合センター職員
幸田	親子でストリートダンスしてみませんか?		親子	番匠 誠さん
幸田	託麻中学校の校長先生と座談会		親	新垣 力さん
幸田	ヨガ教室		親	金子 麻美さん
幸田	熊本城見学とランチ交流会		親	熊本城よかとこ案内人
幸田	デコレーション雑貨		親	井村 七奈さん
幸田	味噌作り		親	塩津 弘美さん
幸田	熊本地方裁判所見学		親	熊本地方裁判所事務員
幸田	ハーブティー教室(ハンドマッサージ付き)		親	三島 孝さん

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
幸田	親子で土器作り		親子	清田 純一さん
幸田	台湾式足つばマッサージ		親子	白浜 藍さん
幸田	香るフラワーアレンジメント～アロマワックス缶～		親	猿渡 あずささん
幸田	陽気に親子もZUNBA		親子	平田 淑加さん
飽田	人権について考える		親	飽田公民館社会教育指導員
飽田	飽田西小 ライブコンサート		親子	飽田西小学校保護者
飽田	飽田南小 アロマジェルづくり		親子	衛藤 瑞恵さん(アロマ講師)
飽田	飽田西小 エコ料理		親子	熊本市食生活改善推進員協議会南支部職員
飽田	飽田中 文徳高校見学		親	緒方さん(文徳高校教頭)
飽田	飽田東小 家庭料理		親子	熊本市食生活改善推進員協議会南支部職員
飽田	防災講話と防災食調理実習		親子	高千穂さん 他(City FM)
飽田	飽田東小 親子ヨガ教室		親子	高戸 里美さん(ヨガ講師)
飽田	飽田東小 クリスマスリースづくり		親子	田口 佐津江さん(フラワーアレンジメント講師)
飽田	飽田西小 飽田西小学校区の歴史や文化を学ぶ		親	稲津 暢洋さん(熊本市埋蔵文化財調査室)
飽田	家庭教育について考える		親	飽田公民館社会教育主事
天明	心肺蘇生講習(川口小)		親	宮本 智洋さん(飽田・天明消防署)
天明	合同閉級式講演会「人間関係改善のヒント」～ヨガを取り入れたコミュニケーション～		親	山本 朋慧さん(天素体流(テンススタイル))
天明	防災頭巾作ろう(川口小1年)		親子	1年保護者
天明	親子で和菓子づくり体験(銭塘小)		親子	北川 和喜さん(天明堂)
天明	食品サンプルづくり(銭塘小)		親子	橋本 圭三さん(日本美術)
天明	フォトスタンドづくり(川口小2年)		親子	2年保護者
天明	親子で和菓子づくり(川口小4年)		親子	北川 和喜さん(天明堂)
天明	元氣フェスタ		親子	講師なし
天明	クリスマスリースづくり(天明中)		親	豊田 智美さん(フラワープロデュース凛花)
天明	親子ヨガと英語遊び(奥古閑小)		親子	甲斐 康子さん アコスタ悠子さん
天明	こどもロコモとケガの予防(中緑小4・5・6年)		親子	三浦 智玄さん(あけぼのクリニック)
天明	しめ縄づくり(川口小3年)		親子	陳内 和浩さん(天草青年の家指導員)
天明	合同講習会「クリスマスリースづくり」		親子	高山 美穂さん
天明	餅つき(中緑小)		親子	井村 紘さん他(中緑校区青少協)
天明	親子料理教室(中緑小)		親子	食生活改善推進委員会委員
天明	合同閉級式講演会「学校が変わる 学びが変わる」		親	増村 隆夫さん(熊本市教育委員会総合支援課主任主事)
富合	家庭教育講演会「無限の可能性を伸ばそう」		親	三角 陽司さん(元富合小学校長)
富合	信頼を築く傾聴		親	NPO教育支援プロジェクト・マスターズ熊本会員
富合	こねない簡単パン作り		親子	清水 妃文さん(画図小家庭教育学級長)
富合	中無田開門で遊ぼう!		親子	井村 紘さん(加勢川開発研究会)
富合	好感度のもてる話し方		親	NPO教育支援プロジェクト・マスターズ熊本会員
富合	コーチング		親	NPO教育支援プロジェクト・マスターズ熊本会員
富合	リメイク缶で多肉植物植え		親子	笹栗 聡子さん(画図小ガーデニングクラブ代表)
富合	人権講演会「見えないけれど心に響く歌を届けます」		親子	大山 桂司さん
富合	親子でクリスマスリース作り		親子	豊野少年自然の家指導員
城南	開級式及び親の学びプログラム		親	高木 徳文さん(くまもと親の学びプログラムトレーナー)
城南	親子まんが教室		親子	桜田 幸子さん(まんが家)
城南	お金の役割(金銭教育)		親子	佐藤 名美さん(フィナンシャルコーチ)
城南	星空観測		親子	艶島 敬昭さん(熊本県天文台台長)
城南	牛乳を使ったすこやか食生活改善料理		親子	高木 あさ子さん(食生活改善推進員)
城南	お正月を彩る寄せ植え		親子	本田 紀代子さん(倉本園芸)
城南	親子でスーパー竹とんぼづくり		親子	国際竹とんぼ協会熊本本部職員
城南	地域で活躍する人たちに学ぶ		親子	下田 泰紀さん(城南蚤の市)
城南	親子マルシェ		親子	城南蚤の市 輪っ活隊隊長
城南	親子ヒップホップダンス体験&閉級式		親子	坂田 奈美枝さん(ダンスインストラクター)
龍田	合同閉級式(ベップトークについて)		親	水野 直樹さん
龍田	合同講演会(LGBTについて)		親	今坂 洋志さん
龍田	合同閉級式(郷土料理作成)【中止】		親	横山 邦子さん
龍田	パン作り・手作りおやつ作り		親	栗原 房江さん

館名	学習内容	学習領域	対象	講師
龍田	体操による心身のリフレッシュ		親	中村 里美さん
龍田	防災にもなるペットボトルピザ教室		親子	夢・理想の里職員
龍田	パーソナルカラー診断（自分に合う色を知る）		親	内山 彩子さん
龍田	オリジナルの味噌を作り（食の楽しさと健康を考える）		親	塩津 弘美さん
龍田	アロマスプレー作りでインフルエンザ対策		親	村上 ちはるさん
龍田	本場韓国のキムチタレ作り		親	チェ・チンスクさん
龍田	体操による心身のリフレッシュ（学級生の交流）		親	村上 くるみさん
龍田	パン作り・手作りおやつ作り		親	栗原 房江さん
龍田	親子でソーセージ作り		親子	㈱ビューライフ職員
龍田	アクセサリ作り（心身ともにリフレッシュ）		親	永田 芙美子さん
龍田	アイシングクッキー作り（親子でハロウィンを楽しもう）		親子	合田 喜代美さん
龍田	多肉植物に寄せ植え		親	東方 智恵さん
龍田	トランポリン（心身のリフレッシュと学級生の交流を図る）		親	竹寄 由美さん
龍田	親子でソーセージ作り		親子	㈱ビューライフ職員
龍田	秋の行楽弁当作り		親	木戸 久美子さん
龍田	パーソナルカラー（自分に似合う色を知り服選びなど楽しみリフレッシュ）		親	内山 彩子さん
龍田	門松作り（気持ちよく新年を迎えよう）		親	村上 加奈子さん
清水	子どもたちの未来のために		親	清水 誠一郎さん（犯罪被害者遺族心の会）
清水	健康を考えた パンづくり		親	永盛 靖子さん
清水	石鹸デコパージュ作り		親	九州電力職員
清水	元気に親子トランポリン		親子	上杉 里香さん（ウィングラーナ）
清水	磁場の酪農技術を学ぼう らくのうマザーズ熊本工場見学		親	熊本県酪農協同組合連合会熊本工場職員
清水	似合う色が分かるパーソナルカラー		親	佐藤 智恵さん（Cees-color）
清水	骨盤体操		親	後藤 美穂さん（日本コアコンディショニング協会インストラクター）
清水	米粉料理教室		親	農林水産部生産局農林園芸課 くまもと米粉インストラクター
清水	味噌づくり		親	塩津 弘美さん（池田屋味噌醸造）
清水	スポーツリズムトレーニング		親子	長井 真希さん（ハンキードーリーダンススタジオ）
清水	ハンドメイド（しめ縄づくり）		親	奥村 純さん（アトリエ Green sea）
清水	～子供の成長を見守る～片付けのヒント		親	詫摩 美由紀さん（ライフオーガナイザー）
清水	話し方講座		その他	橋本 絵鯉子さん（元TKUアナウンサー）
清水	アンガーマネジメント		親	池田 福美さん（フィーリッチ）
清水	写真おばあちゃんに学ぶ写真・人生論		親	西本 喜美子さん（遊美塾）
北部	開級式・講話「家庭学級のあり方」		親	堺 昭博さん（熊本市立西里小学校長）
北部	骨盤体操		親	高戸 里美さん（北部公民館自主講座講師）
北部	消防署見学		親	熊本市北消防署員
北部	子ども食堂の今と未来		親	野村 順子さん（地域コーディネーター）
北部	苔玉づくり		親子	本田 洋典さん（グローバル園芸療法センター）
北部	和菓子づくり		親子	河上 芳信さん（お菓子の香梅）
北部	水の中の生き物に親しもう		親子	清水 稔さん（熊本博物館学芸員）
北部	みんなで考えよう！防災について		親子	水野 直樹さん（NPO法人ソナエトコ代表）
北部	認知症サポーター養成講座		親子	小嶋 誠志郎さん（ソラクリニック）
北部	星の勉強		親子	中山 健二さん（熊本市理科サークル会員）
北部	大人のためのはじめてのテニス		親	村山 隆治さん（ルーセントテニスクラブコーチ）
北部	親子でプログラミング		親子	村上 奈美さん（マリオンネット代表取締役）
北部	I C T 教育		親	藤原 美穂さん（熊本市立川上小学校教諭）
北部	クリスマスリースづくり		親	向山 由香里さん（フラワースタylist）
北部	人権講演会		親子	村上 美香さん（ヒトコト社代表）
北部	クリスマスコンサート		親子	吉永 洋子さん（DUO月香）
北部	障がいと共に生きる・片手で作る単作品」		親	藤野 隆さん（床革職人）
北部	お正月を通して、日本の文化と食を学ぶ		親	濱田 真由美さん（北部公民館主催講座講師）
北部	" My 門松 " づくり		親子	本田 洋典さん（グローバル園芸療法センター）
北部	アイシングクッキー		親	永田 芙美子さん（北部東小保護者）
北部	癒しのアロマオイル		親	飯川 紫真子さん（アロマライセンスカレッジ）
北部	運営会議・閉級式		親	講師なし

